

令和6年度主要な施策の成果に関する説明書「インデックス」

決算書 ページ	事業説明書 ページ	事業CD	款	目	事業名	担当課 (令和7年度 担当課)
102	1	702201	総務費	交通安全対策費	通学路安全対策施設整備事業	学校教育課
190	2	020106	教育費	教育委員会費	教育委員報酬	教育総務課
190	3	081101	教育費	事務局費	教育財産管理事業	教育総務課
190	4	500101	教育費	事務局費	事務局運営事業	教育総務課
190	5	500401	教育費	事務局費	スクールバス運行事業	教育総務課
192	6	500801	教育費	事務局費	市オリジナル体操推進事業	教育総務課
192	7	500501	教育費	教育振興費	教育相談事業	学校教育課
192	8	500601	教育費	教育振興費	教育研究所運営事業	学校教育課
192	9	500701	教育費	教育振興費	教育支援ルーム運営事業	学校教育課
192	10	501101	教育費	教育振興費	教育指導事業（共通）	学校教育課
192	11	501201	教育費	教育振興費	小学校教育指導事業	学校教育課
194	12	501301	教育費	教育振興費	中学校教育指導事業	学校教育課
194	13	501303	教育費	教育振興費	中学生チャレンジウィーク事業	学校教育課
194	14	502101	教育費	教育振興費	外国語指導助手（ALT）配置事業	学校教育課
194	15	502102	教育費	教育振興費	小学校外国語教育事業	学校教育課
194	16	502201	教育費	教育振興費	特別支援教育推進事業	学校教育課
194	17	502203	教育費	教育振興費	発達支援巡回相談事業	学校教育課
194	18	502301	教育費	教育振興費	小1すこやかサポーター配置事業	学校教育課
194	19	502501	教育費	教育振興費	スクーリング・ケアサポーター派遣事業	学校教育課
194	20	502601	教育費	教育振興費	臨時講師配置事業	学校教育課
194	21	502701	教育費	教育振興費	学校運営支援事業	学校教育課
196	22	502801	教育費	教育振興費	いじめ対策推進事業	学校教育課
196	23	502901	教育費	教育振興費	生きる力育みプラン推進事業	学校教育課
196	24	503001	教育費	教育振興費	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	学校教育課
196	25	503101	教育費	教育振興費	外国人児童生徒教育支援事業	学校教育課
196	26	503302	教育費	教育振興費	学校司書配置事業	学校教育課
196	27	503401	教育費	教育振興費	地域部活動推進事業	学校教育課
196	28	503501	教育費	教育振興費	スペシャルサポートルーム運営事業	学校教育課
198	29	080101	教育費	学校管理費	小学校施設維持管理事業	教育総務課
198	30	540101	教育費	学校管理費	小学校運営事業	教育総務課
198	31	542601	教育費	学校管理費	小学校脱炭素推進事業	教育総務課
198	32	780114	教育費	学校管理費	老蘇小学校施設整備事業	教育総務課
198	33	780123	教育費	学校管理費	小学校防犯対策施設整備事業	教育総務課
198	34	055101	教育費	教育振興費	小学校要保護児童援助事業	学校教育課
198	35	055102	教育費	教育振興費	小学校準要保護児童援助事業	学校教育課
198	36	055201	教育費	教育振興費	小学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
198	37	542101	教育費	教育振興費	小学校教育教材事業	教育総務課
200	38	542501	教育費	教育振興費	小学校G I G Aスクール構想推進事業	教育総務課
200	39	080201	教育費	学校管理費	中学校施設維持管理事業	教育総務課
200	40	560101	教育費	学校管理費	中学校運営事業	教育総務課
200	41	562601	教育費	学校管理費	中学校脱炭素推進事業	教育総務課
200	42	780205	教育費	学校管理費	八幡西中学校施設整備事業	教育総務課
200	43	780223	教育費	学校管理費	中学校防犯対策施設整備事業	教育総務課
200	44	055301	教育費	教育振興費	中学校要保護生徒援助事業	学校教育課
200	45	055302	教育費	教育振興費	中学校準要保護生徒援助事業	学校教育課
200	46	055401	教育費	教育振興費	中学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
202	47	562101	教育費	教育振興費	中学校教育教材事業	教育総務課
202	48	562501	教育費	教育振興費	中学校G I G Aスクール構想推進事業	教育総務課
204	49	600101	教育費	社会教育総務費	生涯学習推進事業	生涯学習課

令和6年度主要な施策の成果に関する説明書「インデックス」

決算書 ページ	事業説明書 ページ	事業CD	款	目	事業名	担当課 (令和7年度 担当課)
204	50	600201	教育費	社会教育総務費	社会教育関係団体体育成事業	生涯学習課
204	51	600501	教育費	社会教育総務費	コミュニティスクール・地域学校協働本部事業	生涯学習課
204	52	600502	教育費	社会教育総務費	家庭教育支援基盤構築事業	生涯学習課
204	53	600503	教育費	社会教育総務費	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課
204	54	600701	教育費	社会教育総務費	夫婦都市児童相互交流事業	学校教育課
210	55	604101	教育費	公民館費	公民館運営事業	生涯学習課
210	56	604301	教育費	青少年教育費	青少年育成事業	生涯学習課
210	57	604501	教育費	青少年対策費	青少年対策事業	生涯学習課
210	58	604601	教育費	青少年対策費	子ども・若者育成支援事業	生涯学習課
212	59	782501	教育費	青少年対策費	子ども・若者育成支援施設整備事業	生涯学習課
212	60	604701	教育費	少年センター運営費	少年センター運営事業	生涯学習課
212	61	604901	教育費	人権教育振興費	人権教育推進事業	生涯学習課
212	62	082201	教育費	図書館費	図書館施設維持管理事業	近江八幡図書館
212	63	605101	教育費	図書館費	図書館運営事業	近江八幡図書館
214	64	605301	教育費	図書館費	読書活動推進事業	近江八幡図書館
214	65	605401	教育費	図書館費	ブックスタート運営事業	近江八幡図書館
214	66	605601	教育費	図書館費	本のまち！動く図書館事業	近江八幡図書館
216	67	650101	教育費	学校保健費	学校保健管理運営事業	学校教育課
216	68	020108	教育費	体育振興費	スポーツ推進委員報酬	スポーツ課
216	69	651101	教育費	体育振興費	スポーツ振興推進事業	スポーツ課
216	70	651102	教育費	体育振興費	スポーツ教室運営事業	スポーツ課
218	71	651301	教育費	体育振興費	学校体育施設開放事業	スポーツ課
218	72	652301	教育費	体育振興費	第79回国民スポーツ大会運営準備事業	国スポ・障スポ推進課
218	73	083101	教育費	学校給食費	給食センター施設維持管理事業	学校給食センター
218	74	655201	教育費	学校給食費	給食センター運営事業	学校給食センター
220	75	655301	教育費	学校給食費	学校給食費多子世帯補助事業	学校給食センター
220	76	785501	教育費	学校給食費	給食センター施設整備事業	学校給食センター
220	77	083501	教育費	社会体育施設管理費	社会体育施設維持管理事業	スポーツ課
220	78	083601	教育費	社会体育施設管理費	駅南総合スポーツ施設維持管理事業	スポーツ課
222	79	651501	教育費	社会体育施設管理費	社会体育施設一般管理事業	スポーツ課
222	80	652101	教育費	社会体育施設管理費	健康ふれあい公園施設管理運営事業	スポーツ課
222	81	785101	教育費	社会体育施設管理費	社会体育施設整備事業	スポーツ課
222	82	785201	教育費	社会体育施設管理費	第79回国民スポーツ大会施設整備事業	国スポ・障スポ推進課

事業CD	702201	事業名	通学路安全対策施設整備事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	102	資料	無																
款	02	総務費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 「通学路交通安全プログラム」において、通学路安全推進会議、通学路合同点検、対応策の決定というサイクルの仕組みを構築したことで、計画的に通学路の安全対策を実施することができました。また、自治会要望のあった危険箇所についても、緊急を要する箇所に対して安全対策工事を実施しました。 令和3年度に実施した通学路緊急合同点検で確認した危険箇所についても、引き続き安全対策工事を行いました。 ○通学路合同点検箇所 36箇所																				
項	01	総務管理費																					
目	13	交通安全対策費																					
予算額(千円)	7,214																						
決算額(千円)	7,152																						
(前年決算	23,888	)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
通学路の危険箇所を把握するため合同点検を行い、路面標示や防護柵の設置などの安全対策を実施しました。																							
1																							
事業CD	020106	事業名	教育委員報酬	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	190	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 教育の中立性や安定性を確保し、重要事項や方針を審議決定するため、教育委員会定例会等を開催し、委員4名に報酬(42千円/月)を支払いました。																				
項	01	教育総務費																					
目	01	教育委員会費																					
予算額(千円)	2,016																						
決算額(千円)	2,016																						
(前年決算	2,016	)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
教育の中立性や安定性を確保し重要事項や方針を審議決定するため、教育委員会定例会等を開催し、教育委員の提案等が教育政策に反映できる教育行政を推進しました。																							
2																							
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 教育委員会で実施できる通学路安全対策工事はグリーンベルトや「通学路」の路面標示といった、運転者への注意喚起が中心となっています。交通安全教室による啓発や児童生徒への登下校時の指導等、ソフト面の取組は現在も行っていますが、今後も関係機関と連携して引き続き取り組んでいきます。安土小学校改築に関わる新通学路への安全対策にも取り組んでまいります。				<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 通学路合同点検</td><td>1</td><td>1</td><td>回</td></tr> <tr> <td>② 通学路安全対策工事</td><td>3</td><td>3</td><td>件</td></tr> <tr> <td>③</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 通学路合同点検	1	1	回	② 通学路安全対策工事	3	3	件	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 通学路合同点検	1	1	回																				
② 通学路安全対策工事	3	3	件																				
③																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 教育委員会定例会</td><td>13</td><td>13</td><td>回</td></tr> <tr> <td>② 教育委員会臨時会</td><td>1</td><td>0</td><td>回</td></tr> <tr> <td>③ 教育委員会委員報酬</td><td>2,016</td><td>2,016</td><td>千円</td></tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 教育委員会定例会	13	13	回	② 教育委員会臨時会	1	0	回	③ 教育委員会委員報酬	2,016	2,016	千円	<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 今後も教育の中立性や安定性を確保し、重要事項や方針を審議決定するため、教育委員会定例会等を開催し、遅滞なく報酬を支払います。			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 教育委員会定例会	13	13	回																				
② 教育委員会臨時会	1	0	回																				
③ 教育委員会委員報酬	2,016	2,016	千円																				

事業CD	081101	事業名	教育財産管理事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	190	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 教育財産の適切な維持管理を行い、マナビィの有効活用のため施設内の教室を提供することで、社会教育団体等の活動を支援しました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① マナビィ提供による社会教育団体への活動支援</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① マナビィ提供による社会教育団体への活動支援	6	7	団体	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度						単位															
① マナビィ提供による社会教育団体への活動支援	6	7						団体															
②																							
③																							
項	01	教育総務費																					
目	02	事務局費																					
予算額(千円) 1,593 決算額(千円) 1,528 (前年決算 1,063 )																							
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 教育財産の適切な維持管理とマナビィの有効活用のため、施設内の教室を提供することで、社会教育団体等の活動を支援しました。		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> マナビィは、築40年以上が経過し老朽化が進んでいることから、施設を解体し、その跡地利用について方針を決定する時期を迎えています。入居団体の移行完了までは利用団体と連携を行っていく必要があります。																					
3																							
事業CD	500101	事業名	事務局運営事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	190	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 1. 教育委員会活動の点検・評価 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行いました。点検・評価対象事業は、「第2期近江八幡市教育振興基本計画」に定める19施策の取組について、6名の委員による「施策方針への達成状況」及び「取組の施策への貢献度」の2項目で評価を行いました。 <b>&lt;評価方法&gt;</b> ・19施策について点検・評価を実施(うち5施策は委員によるヒアリング実施) ・評価結果報告書を作成し、市長・市議会へ報告するとともに、市ホームページ公開 ・委員からの意見等について、令和7年度教育行政基本方針に反映 2. その他 ・滋賀県都市教育委員会連絡協議会等で県内教育委員会との連携や情報共有により、効果的な業務の展開を行うことができました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 点検・評価委員会の開催</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 点検・評価委員会の開催	2	2	回	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度						単位															
① 点検・評価委員会の開催	2	2						回															
②																							
③																							
項	01	教育総務費																					
目	02	事務局費																					
予算額(千円) 8,392 決算額(千円) 7,867 (前年決算 7,765 )																							
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 地域の実情に即した開かれた教育行政の推進のため、教育委員会会議の充実及び学校・地域の課題等の把握と掘り起こしに努めました。		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 点検・評価の結果や委員の意見等について、本市教育行政の推進や方向性、重点取組の検討を進めるとともに、「第3期教育大綱」や「第3期教育振興基本計画」の改訂に反映させる必要があります。また、教育委員会・市長部局・関係機関等が連携し、教育振興基本計画に定める各種施策の着実な実施と推進を図る必要があります。																					
4																							

事業CD	500401	事業名	スクールバス運行事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	190	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 遠距離通学の児童生徒を対象としたバス運行及び弾力化制度の利用者を対象としたバス運行については、1年を通してバスの故障や事故等なく安全に運行することができました。																				
項	01	教育総務費																					
目	02	事務局費																					
予算額(千円)	3,106																						
決算額(千円)	2,918																						
(前年決算	3,783	)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
遠距離通学者の通学を支援し、児童生徒の負担の軽減を図るため、スクールバスを運行し、また運行の空き時間には校外学習等の送迎バスとして有効活用しました。																							
5																							
事業CD	500801	事業名	市オリジナル体操推進事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	192	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 「早寝・早起き・あさ・し・ど・う(あいさつ・食事・読書・運動)」運動の推進及び「国スポ・障スポ2025」に向けての機運醸成のため、令和5年度に作成した「にこまる体操」の周知啓発を行いました。																				
項	01	教育総務費																					
目	02	事務局費																					
予算額(千円)	72																						
決算額(千円)	72																						
(前年決算	1,427	)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
市オリジナル「にこまる体操」の周知啓発を行い、「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」運動のさらなる推進や国スポ・障スポ2025に向けての機運の向上を目指しました。																							
6																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① にこまる体操教室、イベントでの啓発</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>② CDの作成配布</td> <td>200</td> <td>-</td> <td>枚</td> </tr> <tr> <td>③ DVDの作成配布</td> <td>120</td> <td>-</td> <td>枚</td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① にこまる体操教室、イベントでの啓発	-	5	回	② CDの作成配布	200	-	枚	③ DVDの作成配布	120	-	枚
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① にこまる体操教室、イベントでの啓発	-	5	回																				
② CDの作成配布	200	-	枚																				
③ DVDの作成配布	120	-	枚																				
		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 「にこまる体操」のさらなる市民への浸透をはかるため、令和7年度は1日2回のZTV放送を行うとともに、イベント等での周知啓発をすすめます。																					

事業CD	500501	事業名	教育相談事業	所管課	学校教育課			
会計	一般会計			決算書頁	192	資料	無	
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ①相談室では教育相談員が電話や面接による相談を受けました。相談によって、専門的な見地が必要なケースについても個別に対応を行いました。また、臨床心理士が学校ケース検討会議に参加し、対象児童生徒の対応について助言するなど、学校園と連携を図ることで同じ方向性をもって支援を進めることができました。不登校や不適応に悩んでいた子どもが、相談室での面談後、「にこまる訪問」、「にこまるルーム」、あすくるへの通室等、さまざまな形で社会と繋がることができました。 ②困難を有する児童生徒について、スクールソーシャルワーカー(SSW)による具体的な方策の提案のもと、チームとして支援を行った結果、登校できるようになったケースがありました。学校教員と共に家庭訪問等を行うことで保護者と協力的な関係を築くことができたケースもあります。また不登校傾向児童生徒について、SSWの助言のもと、福祉や医療機関とも連携を図ることができました。 ③市立小中学校に訪問教育相談員を派遣することで、各校の課題に応じた支援ができました。ケース検討会議にも参加し、訪問教育相談員の視点からアセスメントを行いました。					
項	01	教育総務費						
目	03	教育振興費						
		予算額(千円)	11,842					
		決算額(千円)	11,005					
		(前年決算)	11,056					
※主な特定財源								
国庫支出金								
県支出金								
<b>&lt;事業概要&gt;</b>								
不登校や問題行動等で悩む市内在住の幼児や小中学生、その保護者を対象に教育相談を実施しました。環境の調整を行い、問題の早期発見対応、学校復帰を目指しました。								
7								
事業CD	500601	事業名	教育研究所運営事業	所管課	学校教育課			
会計	一般会計			決算書頁	192	資料	無	
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・教職員の経験年数に応じた研修として、初任者研修(対象22名)を6回、中堅教諭等資質向上研修(対象23名)を2回、本市勤務2年次研修(対象40名)を2回、4年次・5年次教員を対象としたスキルアップ事業(対象29名)を実施しました。 ・教育研究発表大会を開催し、校園所の特色ある取組と教育研究所の調査研究に関する報告を行いました。また、希望研修として、教育相談講座(参加101名)、保育・授業力アップ講座(参加163名)を実施しました。					
項	01	教育総務費						
目	03	教育振興費						
		予算額(千円)	3,711					
		決算額(千円)	3,615					
		(前年決算)	2,895					
※主な特定財源								
国庫支出金								
県支出金								
<b>&lt;事業概要&gt;</b>								
教育に関する研究および調査を行い、また新任教員や若手教員、教育関係職員の研修・講座を行うことにより教職員の資質向上を図り、教育の推進と充実に努めました。								
8								
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b>								
教育相談の内容は多岐にわたり、また複雑化していることから、様々な相談に対応できるよう、相談員の資質向上が必要であるため、研修の機会を確保します。 ・相談者は、学校や訪問教育相談員、相談室など複数で相談しているケースもあるため、学校園と連携しながら支援を進める必要があります。								
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b>								
教職員の資質向上を図るため、少しでも多くの教職員が研修に参加できるよう、研修内容や開催場所・時間を工夫する必要があります。また、本市の教育課題や受講者のニーズに応じた知識を有する講師の招聘が必要です。								

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 教育相談員・臨床心理士による電話・面接相談	503	845	回
② スクールソーシャルワーカー(SSW)の派遣	433	445	回
③ 教育相談・見守り・観察・家庭訪問の実施	2,608	1,939	回

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 教職員の経験年数に応じた研修・講座等の開催	67	60	回
② 教育研究奨励事業の実施	14	15	回
③ 教職員対象とした教育研究発表大会の開催	1	1	回

事業CD	500701	事業名	教育支援ルーム運営事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	192	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・教育支援ルーム「にこまるルーム」では、24人の児童生徒を対象に952回の支援、訪問教育支援では8人の児童生徒を対象に161回の支援を行いました。 ・それぞれの子どもの強みや興味のあることを中心とした活動(栽培活動、工作活動等)を取り入れ、指導員と一緒に活動するなかで、子どもとの信頼関係を築くことができました。 ・学校と連携し、支援目標や支援方法を確認しながら支援を行いました。 ・本市相談室や少年センター「あすくる」、子ども若者相談窓口とも連携し、本人と保護者の支援、卒業後の引継ぎができました。 ・令和5年度からフリースクール等の民間施設を利用する不登校児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため学期ごとに補助金を支給し、不登校児童生徒の普通教育に相当する教育の機会の確保に努めました。 ・令和6年度から、不登校児童生徒の学びの場及び居場所となっているフリースクール等民間施設の安定的かつ持続的な運営及び活動を支援するため、運営支援補助金を交付しました。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	18,844	決算額(千円)		17,034	(前年決算 9,215)		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		不登校傾向の児童生徒を対象にした「教育支援ルーム指導員」と「訪問型教育支援員」を配置し、教育相談や学習支援、社会的自立に向けた支援を行いました。					
9		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> ・不登校の背景要因が複雑な場合があることから、福祉や医療等の関係機関と連携を図りながら支援を進める必要があります。 ・学校復帰や社会的自立に向けてフリースクール等に通う不登校児童生徒が近年増加しているため、連携を進めていく必要があります。					
事業CD	501101	事業名	教育指導事業(共通)	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	192	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・各校園所では、青少年美術展覧会に向けて、子どもたちの個性や想像力を生かした作品づくりに取り組み、子どもたちにとって貴重な学びの機会となりました。また、市内の子どもたちのすぐれた作品をお互いに鑑賞しあうことで感性が刺激され、さらなる作品づくりや情操教育の充実につながりました。 ・審査員である講師の先生から講評をいただき、2学期以降の作品づくりや、図工・美術教育、書写教育の推進に生かしていくことができました。 ・市内保育所、幼稚園、こども園、小・中学校より1,252点の出品があり、3日間で延べ7,373人の来場者がありました。幼児、児童、生徒、保護者及び教職員をはじめ、多くの市民の方々に子どもたちの作品を鑑賞してもらうことができました。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	1,886	決算額(千円)		1,742	(前年決算 1,430)		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		子どもたちの豊かな心情や芸術性を育むための行事を実施し、様々な行事を通して互いに学び合いました。事務局においては、業務を円滑に進める運用を行いました。					
10		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 今後も、青少年美術展覧会へ、より多くの市民に来場してもらえるようポスターや広報紙、公式LINE等で広報を続けていきます。また、教員の来場をさらに促し、より一層の指導力向上が図れるように努める必要があります。					

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 教育支援ルーム「にこまるルーム」での支援	220	952	回
② 訪問教育支援「にこまる訪問」	231	161	回
③ フリースクール等利用児童生徒支援	15	17	件

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 青少年美術展覧会の開催	3	3	日
②			
③			

事業CD	501201	事業名	小学校教育指導事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	192	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ①市立小学校4年生が沖島で森林環境学習を行い、森林や生き物への理解や興味を深め、森林の働きや重要性について学ぶことができました。また、沖島の歴史や文化についての学習を進めることができました。 ②子どもたちが自ら作物に触れ、「作り」「育て」「収穫し」「食べる」という一貫した農業体験学習を通じて、農業への関心を高めるとともに、生命や食べ物の大切さを学びました。 ③児童の身近な町で働かされている方や、物づくりをされている方との出会いを通して、ふるさとに誇りを持てる児童の育成を図りました。児童が人や生活、社会、自然、生命との関わり方を学び、深めるために体験活動を行ったり、講話を聞いたりすることができました。																				
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	7,231	決算額(千円)						7,125															
(前年決算	4,924	)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
児童の確かな学力と豊かな心、たくましく生きる力を育てるため、体験的な学習を充実させ、地域社会と深く関わり、物事を調べ考える機会を確保しました。																							
11																							
事業CD	501301	事業名	中学校教育指導事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	194	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ①生徒の身近な町で働かされている方や、物づくりをされている方との出会いを通して、ふるさとに誇りを持てる生徒の育成を図りました。生徒が人や生活、社会、自然、生命との関わり方を学び、深めるために体験活動を行ったり、講話を聞いたりすることができました。 ②学校教育活動の一環として行われる部活動(体育活動・文化活動)の公式大会やコンクール参加への助成や全国大会出場者への激励金交付を行いました。																				
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	3,032	決算額(千円)						2,820															
(前年決算	2,545	)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
各中学校で、知(確かな学力)、徳(豊かな心)、体(すこやかな体)の調和のとれた生徒を、地域と連携する中で育てるため、特色ある学校づくりを推進しました。																							
12																							
		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> ・令和5年度より森林環境学習事業を「やまのこサポーター」の協力を得て沖島で実施しています。今後も、より豊かな体験が得られるよう工夫を重ねていきます。 ・たんぼのこ体験事業は、生命や食べ物の大切さを学ぶ貴重な機会であるため、今後も継続して実施していきます。																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 地域人材や教材を活かした特色ある学校づくりの推進</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>② 各種大会への選手派遣に係る補助金・激励金の交付</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 地域人材や教材を活かした特色ある学校づくりの推進	4	4	校	② 各種大会への選手派遣に係る補助金・激励金の交付	5	5	校	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 地域人材や教材を活かした特色ある学校づくりの推進	4	4	校																				
② 各種大会への選手派遣に係る補助金・激励金の交付	5	5	校																				
③																							
		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> ・教育大綱基本理念にそった「ふるさとに愛着と誇りをもつ子ども」の育成のためには、学校・地域・家庭の連携が不可欠であり、今後も地域人材や地域教材を効果的に活用し、人や文化に触れるふるさと学習や体験学習等を進めていく必要があります。 ・各種大会への補助金は予算の範囲内で配分しているため、現状では各校の活動費に対して十分な額ではありませんが、より多くの生徒が大会に参加し、日頃の成果を発揮して活躍できる機会を保障するために今後も継続していく必要があります。																					

事業CD	501303	事業名	中学生チャレンジウィーク事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	194	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 職場体験学習の事前学習を通して、社会人としてのマナーや仕事の意義と生き方との関わりなどについて学び、あいさつや振る舞いなど基本的な事を身につけ、働くことの厳しさや喜び、労働に対する正しい認識を持つことができました。 各事業所では単調な仕事にならないように工夫し、目的を持った指導をしていただきました。生徒は実習の中でマナーやルールの必要性を身をもって理解することができました。また、日常にはない貴重な体験を通じて仕事に対する興味や関心が広がることで、より一層、将来の自分像を描きやすくなりました。この実習に参加できた不登校の生徒もおり、有意義な体験となりました。 職場での充実した体験を通して、職業観・勤労観を育み、社会性の向上を図ることができました。また、今後の進路学習や人生設計にも活きる活動となりました。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	618	決算額(千円)		615	(前年決算 627)		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		中学生が自らの進路を選択する力や社会人として自立する力を育むため、地域の事業所の協力のもと、職場体験や職業講話、社会人としてのマナー講座を実施しました。					
13		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 生徒の「生きる力」を育む上で大変有意義な活動であるため、継続して実施していきます。子どもたちの変化を生かした、事前・事後学習の充実を図るとともに、体験先事業の業種に偏りがあることから、今後、さらなる事業所、職種を確保して協力を得る必要があります。					
事業CD	502101	事業名	外国語指導助手(ALT)配置事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	194	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ①『民間派遣委託によるALT』の7名体制で、ALTを活用した外国語教育の充実を図ることができました。 ②ALTを活用した外国語活動や外国語の授業を行うことで、英語を聞いたり伝えたりする必然性が生まれ、より実際の場面に近いコミュニケーション活動を豊富に行うことができました。そのことにより、子どもたちの外国語学習への意欲を高めることができました。また、ALTとの授業を通して、正しい発音を確認し、外国の文化や人々のくらしについての興味関心を高めたり、多様な考え方を受け入れる姿勢を育てたりすることにつながられました。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	35,443	決算額(千円)		35,442	(前年決算 35,420)		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		民間派遣のALTを小中学校に配置し、コミュニケーション能力の向上と豊かな国際感覚を養いました。					
14		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> ALTをより効果的に活用した授業が展開できるよう、教員の指導力・英語力の向上を図る必要があります。					

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 職場体験(中学生チャレンジウィーク)の実施	4	4	校
② 職場体験学習事前学習の実施	4	4	校
③			

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 各小・中学校へのALTの配置	7	7	人
②			
③			

事業CD	502102	事業名	小学校外国語教育事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	194	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 日本人英語講師8名を小学校へ派遣することで、担任とのチームティーチングによる「英語を使う」授業づくりを行い、英語によるコミュニケーションの場面を大切に外国語教育を実践することができました。また、日本人英語講師を講師とした研修会を小学校で行い、教員の指導力向上を図ることができました。																				
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	1,277	決算額(千円)		1,167	(前年決算 1,128 )																		
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 日本人英語講師を小学校に派遣し、教員とチームティーチングによる「英語を使う」授業づくりを行い、英語によるコミュニケーションを大切に外国語教育の実践に努めました。				<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 日本人英語講師(8名)を各小学校へ派遣</td> <td>170</td> <td>170</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 日本人英語講師(8名)を各小学校へ派遣	170	170	回	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 日本人英語講師(8名)を各小学校へ派遣	170	170	回																				
②																							
③																							
15				<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 英語によるコミュニケーションの場面を確保した、より実践的な外国語教育を推進するために、指導体制や環境の整備を引き続き行う必要があります。																			
事業CD	502201	事業名	特別支援教育推進事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	194	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 特別支援教育支援員の配置により、対象児童生徒が落ち着いて学習に取り組めるようになり、安心した学校生活につながりました。																				
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	49,843	決算額(千円)		46,602	(前年決算 37,433 )																		
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金				・特別支援教育支援員の配置状況 (小学校) 八幡小学校 5名 島小学校 1名 岡山小学校 4名 金田小学校 4名 桐原小学校 4名 桐原東小学校 3名 馬淵小学校 1名 北里小学校 4名 武佐小学校 1名 安土小学校 3名 老蘇小学校 1名  (中学校) 八幡中学校 2名 八幡東中学校 2名 八幡西中学校 2名 安土中学校 2名																			
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 特別支援教育支援員や看護師を配置し支援体制を整えました。また、教育支援委員会を設置し、障がいのある子どもの就学に関して助言を行いました。				・看護師の配置状況 (小学校) 岡山小学校 1名 金田小学校 1名 武佐小学校 1名 学校教育課 1名																			
16				<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 対象児童生徒に対する支援</td> <td>200</td> <td>199</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>② 就学相談対象者に対する観察訪問や就学相談会の実施</td> <td>124</td> <td>139</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 対象児童生徒に対する支援	200	199	日	② 就学相談対象者に対する観察訪問や就学相談会の実施	124	139	回	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 対象児童生徒に対する支援	200	199	日																				
② 就学相談対象者に対する観察訪問や就学相談会の実施	124	139	回																				
③																							
				<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 特別支援教育支援員の配置は、子どもたちが安心し、落ち着いて学べる環境づくりには不可欠であり、支援を必要とする児童生徒が増加傾向にある中、適切な支援を行うため、支援員のさらなる増員が望まれます。また、医療的ケアが必要な子どもが地域の学校で学んでいけるよう、看護師の安定的な配置が求められます。 就学相談対象者について、教育的ニーズの多様化に伴い、総合的な判断のもと、子ども・保護者の思いをできる限り尊重した形で就学先を決定することができるよう今後も取り組んでいきます。																			

事業CD	502203	事業名	発達支援巡回相談事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	194	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 市立小・中学校からの申し出に応じて巡回相談員が学校を訪問し、対象児童生徒の特性や支援の見立てを行いました。また、対象児童生徒がよりよい学校生活を送るために必要な教育的支援について、担任や特別支援教育コーディネーター等の支援者に指導助言を行いました。通常学級の巡回相談では、授業づくりや学級づくりについての助言により指導の改善が図れました。また、対象児童生徒の個別支援の方向性を考える機会となり、その後保護者と話す中で、発達検査につなげることができたケースもありました。 特別支援学級への巡回相談には、県立特別支援学校の教員に相談員を依頼することで、より専門性の高い助言が可能となり、学習指導や生活指導の場で担任がそのスキルを活かすことにつながりました。 訪問回数 ・市立16小・中学校に63回 ・通常学級36回(小28回:138人、中8回:16人) ・特別支援学級27回(小21回:30人、中6回:8人)				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	440	決算額(千円)		438	(前年決算 448)		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		特別な支援を要する子どもに関して、担任等により効果的な支援の方法を助言し、継続支援が行われるよう校内支援体制の充実に努めました。					
17		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> インクルーシブ教育の推進により、地域の小・中学校に就学する特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあります。また、通常の学級にも支援を必要とする児童生徒の割合が高くなっています。巡回相談での指導助言を個別の指導計画や教育支援計画に反映させ、児童生徒への指導にあたることのできるよう教職員の力量アップを図る必要があります。また、経験年数の浅い教員が特別支援学級の担任をすることも増えてきており、日常的なサポートの必要性も高まっています。					
事業CD	502301	]	小1すこやかサポーター配置事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	194	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・小学校1年生にとって、学校という大きな生活環境の中で担任の指示だけで行動することは難しく、小1すこやかサポーターが個々の子どもにきめ細かに対応することで、子どもたちが安心して学校生活を送ることができ、日々の生活に大きく寄与しました。 ・教室移動や学習支援、給食支援等、小1すこやかサポーターの支援で、教職員の時間的、物理的な負担をおおいに軽減することができました。 配置校 八幡小学校(3学級) 岡山小学校(2学級) 金田小学校(4学級) 桐原小学校(3学級) 桐原東小学校(2学級) 馬淵小学校(1学級) 北里小学校(2学級) 武佐小学校(1学級) 安土小学校(4学級) 老蘇小学校(1学級)				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	7,852	決算額(千円)		7,852	(前年決算 3,386)		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		新小1の児童が学校教育にスムーズになじめるよう、1学級21人以上の子どもが学ぶ学級に小1すこやかサポーターを配置し、学習面や生活面でのきめ細やかな支援を行いました。					
18		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 学校生活への順応を促すため、小1すこやかサポーターの配置の意義は大きいと考えます。学級担任の指導力の向上を図りつつ、学校組織として児童の自立の成長を目指すことも大切であることから、配置の期間や見直しなど適宜検討していく必要があります。					

事業CD	502501	事業名	スクーリング・ケアサポーター派遣事業	所管課	学校教育課			
会計	一般会計			決算書頁	194	資料	無	
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・配慮が必要な児童に対して学習支援などの関わりを持つことで、安心して学習できるようになるケースが多く見られました。 ・教室に行きにくい児童に寄り添い気持ちを受け止めることで、友だちと楽しく遊ぶ等安定した学校生活を送ることができるようになるなど、スクーリング・ケアサポーター(SCS)の関わりにより、自分に自信をもち、苦手なことやできなかったことに挑戦しようとする児童が増えました。 ・不登校の要因は、人間関係や学業不振、家庭環境等が複雑に絡み合っており、高学年になるにつれて教室へ行きにくさを感じる児童が増加する傾向にあるため、各校の状況に応じてスクーリング・ケアサポーターを重点的に派遣しました。					
項	01	教育総務費						
目	03	教育振興費						
		予算額(千円)	1,600					
		決算額(千円)	1,502					
		(前年決算	1,476					
※主な特定財源		<b>&lt;派遣小学校&gt;</b> 八幡小、島小、岡山小、金田小、桐原小、桐原東小、馬淵小、北里小、武佐小、安土小、老蘇小						
国庫支出金								
県支出金								
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		小学校にスクーリング・ケアサポーターを派遣し、不登校をはじめとする学校不適応の状態にある児童に対して、生活面・学習面の支援を行いました。						
19		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 児童が抱えている課題や不安は多種多様になっており、スクーリング・ケアサポーターと担任などとの連携を強化していく必要があります。教職員との連携についての研修を実施する必要があります。						
事業CD	502601	事業名	臨時講師配置事業	所管課	学校教育課			
会計	一般会計			決算書頁	194	資料	無	
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・市費臨時講師が授業を担当することで、生徒指導主任や学級担任の授業時間が軽減され、教材研究の充実や子どもと向き合う時間の確保が可能となり、児童生徒理解と学力向上の取組が深まりました。 ・市費臨時講師が複数指導にあたることで、生徒指導や教務主任の授業時間が軽減され、生徒指導上の事案に対して迅速に対応することができました。 ・市費臨時講師自身が日々の児童生徒との関わりの中で、良好な人間関係を構築し、課題を抱える児童生徒の対応や学習指導、各学級への給食指導、登下校の安全指導等を行うことで、児童生徒の安定した学校生活につながりました。					
項	01	教育総務費						
目	03	教育振興費						
		予算額(千円)	23,855					
		決算額(千円)	22,660					
		(前年決算	19,727					
※主な特定財源		<b>[配置校]</b> 金田小学校 桐原東小学校 北里小学校 安土小学校 八幡東中学校 八幡西中学校 安土中学校						
国庫支出金								
県支出金								
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		不登校や問題行動等課題の多い中学校や加配教員等の少ない小中学校の生徒指導等に対応するため、臨時講師を配置し学校の組織体制の充実を図りました。						
20		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 市費臨時講師は県費教職員加配措置の状況や各種支援員の配置などを考慮して決定する必要があります。個別の支援が必要な児童生徒が増加し、生徒指導上の諸課題や保護者対応に時間を要する学校が増えていることから、配置校を増やすことについても検討の必要があります。						

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① スクーリング・ケアサポーターによる児童への支援	1,476	1,502	時間
② スクーリング・ケアサポーターへの研修	3	3	回
③			

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 生徒指導上の課題を抱える児童生徒への相談・支援	215	215	日
②			
③			

事業CD	502701	事業名	学校運営支援事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	194	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・教職員の働き方改革の推進にあたり、国の方針に従い、市内すべての小中学校に教育業務支援員(スクールサポートスタッフ)を配置しました。従来から教職員が担ってきた掲示物の掲示、ワークシートや通信の印刷などを教育業務支援員に依頼することで、教職員と児童生徒とが向き合う時間の確保に効果が見られました。 ・部活動指導員配置事業として4中学校に指導員を12名配置しました。教職員の時間外労働が軽減され、生徒への支援・指導に対応できる時間を確保することができました。また、指導員を配置したことにより、専門的な技術指導やチーム作りの指導を受けることができ、専門技能の習得とスポーツから得られる忍耐や協調性などの社会性の成就に大いに効果が見られました。																				
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	15,575	決算額(千円)	15,313	(前年決算 13,789 )																			
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 教員が教材研究等本来担うべき業務に注力できるよう、教員業務を支援する支援員を配置しました。部活動指導員を配置し、指導体制の充実を図りました。また、学校の働き方改革を推進する方策について協議しました。				<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 部活動指導員の配置</td> <td>1,575</td> <td>2,158</td> <td>時間</td> </tr> <tr> <td>② 教育業務支援員の配置</td> <td>12,608</td> <td>12,800</td> <td>時間</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 部活動指導員の配置	1,575	2,158	時間	② 教育業務支援員の配置	12,608	12,800	時間	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 部活動指導員の配置	1,575	2,158	時間																				
② 教育業務支援員の配置	12,608	12,800	時間																				
③																							
21				<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 学校は、個人情報保護や児童生徒および保護者との対応など、教員経験や学校現場での就労経験がある者が望ましいものの、人材確保が難しい状況にあります。事業を拡大するには学校運営支援事業の就労条件の整備や、人材ネットワークのようなシステムを整える必要があります。																			
事業CD	502801	事業名	いじめ対策推進事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	196	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・いじめ問題対策連絡協議会において、各校のいじめ問題に係る取組報告や、各機関・団体のいじめ防止に係る連携および推進に関する取組について情報共有を行い、連携体制を改めて確認し、各校の取組をさらに充実したものとするために協議を行いました。 ・いじめ問題専門委員会において、各委員から専門的な見地をもとに、本市のいじめ防止の取組や不登校支援の在り方について助言を受けました。 ・各校においては、児童生徒主体の取組を進め、いじめを許さない雰囲気を醸成することができました。																				
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	90	決算額(千円)	86	(前年決算 172 )																			
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題専門委員会を開催し、学校、家庭、地域、関係機関が一体となっていじめ問題を克服するための取組の充実を図りました。				<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① いじめ問題対策連絡協議会の開催</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>② いじめ問題専門委員会の開催</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① いじめ問題対策連絡協議会の開催	3	3	回	② いじめ問題専門委員会の開催	2	2	回	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① いじめ問題対策連絡協議会の開催	3	3	回																				
② いじめ問題専門委員会の開催	2	2	回																				
③																							
22				<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> ・いじめを解消するためには、いじめに係る行為が止んでいる状態が相当の期間継続している必要があるため、過去に認知したいじめについて今後も継続して見守りと指導を行います。 ・いじめ問題対策連絡協議会やいじめ問題専門委員会で共有したり協議したりした内容について、各校に伝達・周知することを通して、各校のいじめ対応能力のさらなる向上を目指すことが必要です。																			

事業CD	502901	事業名	生きる力育みプラン推進事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	196	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ①ICT教育推進リーダー一部会 ・各校の実態に応じた研修会を企画し、それぞれ夏季休業期間を利用して実施しました。 ・研究授業を行い、ICT機器の効果的な活用方法について意見交流しました。 ②重点内容 ・全国学力・学習状況調査結果を検証し、自校の学力向上プランを作成し、授業の改善を図りました。 ・ICT機器の有効活用を促進するとともに、学習の中での効果的な利活用についての検証や研究を進めました。 ・市教育研究所と連携し、教科指導・授業づくり講座を開設し、研修の機会をもちました。 ・市内小学校にICT支援員を月2日配置し、タブレット端末を活用した授業を支援しました。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)		8,093					
決算額(千円)		8,066					
(前年決算)		8,242					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 生きる力を育むため、学校の教科指導力の向上や子どもの学ぶ力の向上に努めました。また授業でのICT活用を支援しました。							
23							
事業CD	503001	事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	196	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・スクールガードやPTA等による登下校時の見守り活動を実施し、子どもの安心・安全を確保することができました。 ・児童数に応じた見守り活動費を各小学校に配分し、その費用の中で、旗や活動用ベストを購入できるようにしました。その結果、スクールガードやPTA等による登下校の見守り活動にかかる消耗品の経年劣化に対応することができ、安全な活動につなげることができました。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)		520					
決算額(千円)		484					
(前年決算)		859					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 学校における、交通安全、防犯対策の充実のため、登下校時の子どもの見守り活動の充実を図りました。							
24							
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 「生きる力」育みプランに基づいて、子どもたちの確かな学力を育むための取組をさらに工夫して実施していく必要があります。また、タブレット端末をより効果的に活用していくための研修や授業改善を進めます。							
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> ・スクールガードの高齢化により活動の継続が困難な地域があります。学区まちづくり協議会との連携等を含め、各校で新規メンバーの確保を進めていく必要があります。 ・一方で、新規メンバーへのスクールガード活動の技術について研修が必要であり、今後は以前行っていたスクールガードリーダーの巡回指導を再開させたり、連絡体制を整備したりするなど、スクールガード自身の安全確保を充実させる必要があります。							

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① ICT教育推進リーダー一部会の開催	4	5	回
② 教職員対象とした教育重点取組研修会の開催	1	1	回
③ ICT支援員による各種支援(一校あたり)	2	2	日/月

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① スクールガード・PTA等による登下校時の見守り活動	200	200	回
②			
③			

事業CD	503101	事業名	外国人児童生徒教育支援事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	196	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 日本語学習指導員兼コーディネーターを配置することで、市内に在籍する外国人児童生徒の状況を把握することができ、一人ひとりの状況にあった日本語指導や母語支援を行うことができました。 母語支援員として、ポルトガル語対応支援員2名、中国語対応支援員1名、ベトナム語対応支援員3名、英語対応支援員1名、タガログ語対応支援員1名を配置しました。年間を通じて支援員を市立小中学校に派遣し、75名の外国人児童生徒に適応支援や学習支援を行いました。言葉や文化の違いから学校生活に適応できず、不登校になった外国人児童生徒はありません。																				
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	5,523	決算額(千円)	5,109	(前年決算 5,317 )																			
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金																					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		小中学校に在籍する外国人児童生徒や保護者に対し、学校生活への適応支援や日本語指導、学習支援等を行いました。																					
25		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 日本語学習指導員兼コーディネーターの配置</td> <td>180</td> <td>180</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>② 母語支援員の配置</td> <td>613</td> <td>611</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 日本語学習指導員兼コーディネーターの配置	180	180	回	② 母語支援員の配置	613	611	回	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 日本語学習指導員兼コーディネーターの配置	180	180	回																				
② 母語支援員の配置	613	611	回																				
③																							
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b>		母語支援を必要とする外国人児童生徒の母語が多言語化しており、ポルトガル語、中国語、ベトナム語、英語、タガログ語だけでは十分な支援が行えない現状にあります。外国人児童生徒の中には言葉以外の課題を抱える児童生徒もいることから、関係機関と連携した支援が必要となります。																					
事業CD	503302	事業名	学校司書配置事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	196	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ①学校図書館や図書を活用した授業を、モデル校の教諭と学校司書が連携して積極的に進め、市内の教員に授業を公開していくことで、授業で図書や学校司書を活用する機会が増えました。 ②ブックトークや学校図書館のオリエンテーションを行い、児童生徒に図書室の使い方やおすすめの本を紹介することで、児童生徒の図書への興味関心を高めることができました。 ③学校司書が季節の本や新刊図書の紹介等、テーマを決めて本を紹介するコーナーを作ったり、児童生徒のニーズに合わせて配架を工夫したりすることで、子どもたちが行ってみたくなる学校図書館になり、徐々に貸出冊数も増えています。 ④内容が古い本等は廃棄して子どもたちの読書活動がより活発になるように本を選書し、学校図書館の本を入れ替えています。																				
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	21,011	決算額(千円)	20,033	(前年決算 10,264 )																			
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金																					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		学校司書を配置し、読書活動と学校図書館の利活用の推進、学校司書との協働授業の実践、心豊かな子どもの育成、将来にわたって学ぶ力の育成の取組を強化しました。																					
26		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 学校司書活動日数</td> <td>215</td> <td>215</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 学校司書活動日数	215	215	日	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 学校司書活動日数	215	215	日																				
②																							
③																							
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b>		現在は学校司書一人が2校を掛け持ちするため、担当校での勤務が週2～3日です。そのため学校司書が教職員と学校図書館の運営や授業についての打合わせ時間を確保することが難しくなっています。市学校図書館教育方針にある「読書センター」「学習・情報センター」「心の居場所」としての機能を果たす学校図書館には学校司書が欠かせません。今後は司書を2名増員し、小学校中・大規模校においては、専任の学校司書を置き、充実した取組を進めたいと考えます。																					

事業CD	503401	事業名	地域部活動推進事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	196	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・市内1校にのみ設置されている八幡西中学校ラグビー部を拠点とし、休日のみ「八幡ラグビークラブ」として地域の指導者、兼職兼業教員で指導する地域クラブを設置しました。 ・令和6年8月から、八幡中学校ソフトボール部を拠点とした「八幡ソフトボールクラブ」を設置し、子どもたちが活動できる機会を増やしました。 ・市内4中学校の生徒であれば誰でも「八幡ラグビークラブ」「八幡ソフトボールクラブ」に参加できるようになりました。 ・地域の指導者から専門的な技能を教えてもらうことができ、生徒の活動意欲が高まりました。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	6,810	決算額(千円)		6,043	(前年決算 3,097 )		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		少子化の中でも子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するため、地域クラブ活動の体制を整えました。					
27		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 他の学校からも参加できる体制を作り、他校からの参加者は各クラブ1名ずつでした。今後は、周知時期や周知方法を工夫するとともに、生徒のニーズを把握し、他競技や文化・芸術分野における地域クラブの体制整備についても検討していく必要があります。					
事業CD	503501	事業名	スペシャルサポートルーム運営事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	196	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・小・中学校の空き教室などを利用して、子どもの居場所(スペシャルサポートルーム)を設置し、個別の支援を行う専任の支援員を配置しました。 ・学校には登校するが、教室に入りにくいといった不登校初期の児童生徒が安心して過ごせる居場所となっています。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	16,630	決算額(千円)		15,857	(前年決算 - )		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		小学校の空き教室などを利用して子どもの居場所(スペシャルサポートルーム)を設置し、個別の支援を行う専任の支援員を配置しました。					
28		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 児童生徒がより安心して過ごせる場となるよう工夫をするとともに、すべての職員がスペシャルサポートルーム(SSR)の目的や取組、児童生徒への支援等について共通理解を図る必要があります。					

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 部活動地域移行推進協議会の開催	2	3	回
② 地域クラブ活動の開催	25	51	回
③			

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① スペシャルサポートルーム利用人数	-	242	
②			
③			

事業CD	080101	事業名	小学校施設維持管理事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	198	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 教育委員会と学校が連携し、学校施設の問題を確認、把握した上で、原因の特定及び緊急性を判断し、修繕等を実施しました。また、法定点検や検査、保守を適正に行い、安全・安心な教育環境の提供に努めました。 小学校グラウンドの芝生については、地域の管理団体へ委託し、維持管理していただくことにより、芝生化の効果を継続し、充実した教育環境の提供と児童の体力向上につながりました。																				
項	02	小学校費																					
目	01	学校管理費																					
予算額(千円)		243,344																					
決算額(千円)		239,785																					
(前年決算		183,021																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
安全・安心な教育環境を提供するため、教育委員会と学校が連携し、修繕等学校施設の管理を行いました。また、地域の管理団体へ芝生の管理を委託し、充実した教育環境の提供につながりました。																							
29																							
事業CD	540101	事業名	小学校運営事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	198	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 学校と連携を取りながら、学校環境整備等に取り組むことができました。用務員業務委託については、大きなトラブル等もなく円滑に業務を行うことができました。 また、暑さ対策のため、各校にミストファンを配備しました。																				
項	02	小学校費																					
目	01	学校管理費																					
予算額(千円)		57,063																					
決算額(千円)		55,861																					
(前年決算		54,388																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
児童の教育環境の向上、円滑な学校運営の推進及び学校事務の効率化のため、学校と連携し、教育を行うための諸条件を整備しました。																							
30																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 小学校環境整備に伴う用務員委託</td> <td>30,480</td> <td>30,925</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>② 学校運営に伴う備品購入</td> <td>4,287</td> <td>5,065</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③ 小学校環境整備に伴う消耗品購入</td> <td>15,204</td> <td>15,189</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 小学校環境整備に伴う用務員委託	30,480	30,925	千円	② 学校運営に伴う備品購入	4,287	5,065	千円	③ 小学校環境整備に伴う消耗品購入	15,204	15,189	千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 小学校環境整備に伴う用務員委託	30,480	30,925	千円																				
② 学校運営に伴う備品購入	4,287	5,065	千円																				
③ 小学校環境整備に伴う消耗品購入	15,204	15,189	千円																				
		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 学校運営備品等資源の有効活用を図るとともに、経年劣化・老朽化の状況に応じて備品等の修繕・更新を行い、引き続き児童の学びを支える教育環境の充実に取り組んでいきます。																					

事業CD	542601	事業名	小学校脱炭素推進事業	所管課	教育総務課																						
会計	一般会計			決算書頁	198	資料	無																				
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 教室や廊下、階段等の日常的に使用する箇所について蛍光灯からLED照明に交換しました。保守管理を含めリース方式であり施設管理者の負担がなく、また、照明器具等取替工事を含めた10年間の包括的賃貸借契約により、LED照明への更新費用について支出の平準化を図ることができました。																								
項	02	小学校費																									
目	01	学校管理費																									
予算額(千円)		1,405																									
決算額(千円)		844																									
(前年決算		—																									
※主な特定財源																											
国庫支出金																											
県支出金																											
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 脱炭素化の推進、維持管理コストの軽減を目的として、蛍光灯をLED照明ランプ及び器具へ交換し、今後10年間の保守を含めた賃貸借を行いました。																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>小学校校舎LED照明器具賃貸借業務</td> <td>-</td> <td>844</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位	①	小学校校舎LED照明器具賃貸借業務	-	844	千円	②					③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位																							
①	小学校校舎LED照明器具賃貸借業務	-	844	千円																							
②																											
③																											
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 今回は、校舎棟の日常利用箇所のみへの対応であるため、屋内運動場のアリーナ及びステージ以外の日常利用箇所、グラウンド等の屋外照明についても、蛍光灯の製造・輸出入の終了に合わせ、LED照明への更新に取り組む必要があります。																											
31																											
事業CD	780114	事業名	老蘇小学校施設整備事業	所管課	教育総務課																						
会計	一般会計			決算書頁	198	資料	無																				
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 校舎及び屋内運動場のトイレ改修により大便器を洋式化、床の乾式化等を実施し、児童が使い易く、明るくきれいなトイレとなりました。																								
項	02	小学校費																									
目	01	学校管理費																									
予算額(千円)		133,325																									
決算額(千円)		113,949																									
(前年決算		3,630																									
※主な特定財源																											
国庫支出金		1/3																									
県支出金																											
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 老蘇小学校の教育環境の向上を目的として、トイレ改修工事を実施しました。																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>設計業務委託</td> <td>3,630</td> <td>-</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>改修工事</td> <td>-</td> <td>110,821</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>監理業務委託</td> <td>-</td> <td>3,080</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>								事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位	①	設計業務委託	3,630	-	千円	②	改修工事	-	110,821	千円	③	監理業務委託	-	3,080	千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位																							
①	設計業務委託	3,630	-	千円																							
②	改修工事	-	110,821	千円																							
③	監理業務委託	-	3,080	千円																							
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 北校舎の雨漏り対応については、改めて問題箇所の確認、修繕による対応方法の検討を行い、学校運営への支障、建物への影響がないよう取り組む必要があります。																											
32																											

事業CD	780123		小学校防犯対策施設整備事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	198	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 想定される侵入経路を吟味した上で、威嚇効果が高いと思われる位置に、夜間でも監視効果及び赤外線暗視ができるカメラの設置と、外部から視認性が高い箇所に「防犯カメラ作動中」の看板を11校に設置しました。また、常時職員室にいる教職員の目に触れる箇所に、撮影画像の表示モニター及び、一定期間画像保存が可能となるレコーダーの設置を行いました。 駐車場からグラウンドへ容易に車両が侵入できる等、物理的に学校敷地内への侵入防止が図れない形態の箇所に、囲障や門扉を設置しました。																				
項	02	小学校費																					
目	01	学校管理費																					
予算額(千円)	96,535	決算額(千円)		62,380	(前年決算 3,105 )																		
※主な特定財源		国庫支出金	1/2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 設計業務委託</td> <td>3,105</td> <td>-</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>② 防犯カメラ整備工事</td> <td>-</td> <td>54,384</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③ 囲障及び門扉整備工事</td> <td>-</td> <td>7,996</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 設計業務委託	3,105	-	千円	② 防犯カメラ整備工事	-	54,384	千円	③ 囲障及び門扉整備工事	-	7,996	千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 設計業務委託	3,105	-	千円																				
② 防犯カメラ整備工事	-	54,384	千円																				
③ 囲障及び門扉整備工事	-	7,996	千円																				
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		児童の安全を確保するため、不審者の侵入を心理的かつ物理的に防止できるよう、防犯カメラ及び囲障の設置を行いました。																					
33		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 不審者の侵入に対し自校の安全性を理解できている教職員、児童は少ないと思われることから、今回の防犯対策設備の整備を契機に、学校現場における防犯に対する意識向上につながる取組が必要です。																					
事業CD	055101	事業名	小学校要保護児童援助事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	198	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 申請者に対して正確な要否判定を行い、該当する対象者に修学旅行費の一部を期日までに給付して、経済的な理由で就学が困難な児童の保護者の経済的負担を軽減しました。 (1件当たり上限22,690円)																				
項	02	小学校費																					
目	02	教育振興費																					
予算額(千円)	131	決算額(千円)		112	(前年決算 45 )																		
※主な特定財源		国庫支出金																					
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		義務教育の円滑な実施のため、要保護児童の保護者に対し、生活保護で給付対象外である修学旅行費についてその一部を給付しました。																					
34		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 計画的に事務を遂行し、適正に給付します。																					

事業CD	055102	事業名	小学校準要保護児童援助事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	198	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 市要綱に基づき給付審査を行った結果、計327件が給付対象となり、経済的な理由で就学困難な児童の保護者に対し、学校生活に必要な経費の一部を期日までに給付し、児童が安心して就学できるよう図りました。 また、令和6年度新小学校1年生の保護者のうち、入学前給付審査で認定の判定を行った26件に新入学児童生徒学用品費を給付しました。(単価57,060円)																				
項	02	小学校費																					
目	02	教育振興費																					
予算額(千円)		23,963																					
決算額(千円)		19,989																					
(前年決算		20,275																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
義務教育の円滑な実施のため、経済的な理由で就学困難な児童の保護者に対し、学校生活に必要な学用品費、校外活動費、修学旅行費等の一部を給付しました。																							
35																							
事業CD	055201	事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	198	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 申請に対して、家庭の経済状況等に応じた補助対象経費を決める支弁区分を判定し、国庫補助の要綱に従って給付事務を行いました。																				
項	02	小学校費																					
目	02	教育振興費																					
予算額(千円)		6,123																					
決算額(千円)		5,041																					
(前年決算		5,556																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
特別支援学級等に在籍する児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品費、学校給食費、校外活動費、修学旅行費等の一部を給付しました。																							
36																							
		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 児童が安心して学校生活を送れるように、この事業を継続していくことが大切であると考えています。今後も迅速かつ適切に支給が行えるように努めます。																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 支弁区分の判定及び就学に係る経費の一部給付</td> <td>219</td> <td>259</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 支弁区分の判定及び就学に係る経費の一部給付	219	259	件	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 支弁区分の判定及び就学に係る経費の一部給付	219	259	件																				
②																							
③																							
		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 特別支援学級の在籍者は年々増加傾向にあるため、事業を継続することが必要と考えています。今後も迅速かつ適切に支給が行えるように努めます。																					

事業CD	542101	事業名	小学校教育教材事業	所管課	教育総務課																						
会計	一般会計			決算書頁	198	資料	無																				
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 各学校が希望する教材備品については学校と連携しながら購入することができ、学校図書館の図書についても学校教諭や学校司書が児童にとって必要な図書は何か考えながら選書し、小学校における教育環境及び読書環境の整備を実施することができました。 小学校図書については一般財団法人村松報恩会及び株式会社尾賀亀からの寄附金も活用し、各校の図書の充実を図りました。 また、寄附金を活用しブックトラック、楽器等を購入しました。																								
項	02	小学校費																									
目	02	教育振興費																									
予算額(千円)	62,218	決算額(千円)		62,084	(前年決算 18,632 )																						
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																											
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 確かな学力を育む「子どもの学ぶ力」の向上を目指す学習活動につなげるため、小学校における教育環境及び読書環境の充実・整備に努めました。				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>教材備品(図書費含む)</td> <td>12,142</td> <td>56,081</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>教材消耗品</td> <td>5,726</td> <td>6,003</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位	①	教材備品(図書費含む)	12,142	56,081	千円	②	教材消耗品	5,726	6,003	千円	③				千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位																							
①	教材備品(図書費含む)	12,142	56,081	千円																							
②	教材消耗品	5,726	6,003	千円																							
③				千円																							
37				※①について、教師用教科書・指導書、指導者用デジタル教科書購入のため、大幅に増加																							
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 学校と連携し、児童の主体的な学習活動や豊かな心を育む読書活動を支援するため、教育教材や学校図書等の充実を図り、引き続き児童の学びを支える教育環境の充実に取り組んでいきます。																											
事業CD	542501	事業名	小学校GIGAスクール構想推進事業	所管課	教育総務課																						
会計	4			決算書頁	200	資料	無																				
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 学校と連携し、大きなトラブル等なくネットワーク環境等を運営できました。 令和6年度よりデジタルAIDリルを導入しました。1人1台端末を学校と家庭の両方で効果的に活用し、個別最適な学習の推進に寄与することができました。 また、GIGAスクール構想による児童1人1台端末の運用において、修繕や不具合時の交換対応に備え、予備機を追加購入しました。 学習系ネットワークについては保守委託によりサポートセンターを設置し、学校からの相談やタブレット端末の故障対応を実施することにより、学校において安心してICT機器を活用することができる環境を整えることができました。																								
項	02	小学校費																									
目	02	教育振興費																									
予算額(千円)	53,401	決算額(千円)		53,345	(前年決算 79,569 )																						
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																											
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 児童の創造性や情報活用能力の育成のため、GIGAスクール構想の実現に向けた学校のICT環境整備を行い、ICT機器を活用した学習活動を充実させました。				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>AIDリル</td> <td>-</td> <td>6,575</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>教育情報ネットワーク及び校務系システムに係るサービス提供</td> <td>68,607</td> <td>42,623</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>学習系ネットワーク保守</td> <td>851</td> <td>851</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位	①	AIDリル	-	6,575	千円	②	教育情報ネットワーク及び校務系システムに係るサービス提供	68,607	42,623	千円	③	学習系ネットワーク保守	851	851	千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位																							
①	AIDリル	-	6,575	千円																							
②	教育情報ネットワーク及び校務系システムに係るサービス提供	68,607	42,623	千円																							
③	学習系ネットワーク保守	851	851	千円																							
38				<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 整備したICT機器の活用方法については各学校のICT教育担当者が集まるICTリーダー推進部会を中心に、情報共有や連絡を行い、より良い授業や活用ができるように進めていきます。 また、持ち帰り学習を推進するため、引き続きAIDリルやフィルタリング機能を整備し、モバイルWi-fiルーターの貸出に対応します。 なお、教職員の校務端末及びGIGAスクール構想による児童1人1台端末を更新し、引き続き学校において安心してICT機器を活用することができる環境を整えていきます。																							

事業CD	080201	事業名	中学校施設維持管理事業	所管課	教育総務課																						
会計	一般会計			決算書頁	200	資料	無																				
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 教育委員会と学校が連携し、学校施設の問題を確認、把握した上で、原因の特定及び緊急性を判断し、修繕等を実施しました。また法定点検や検査、保守を適正に行い、安全・安心な教育環境の提供に努めました。																								
項	03	中学校費																									
目	01	学校管理費																									
予算額(千円)		85,628																									
決算額(千円)		84,196																									
(前年決算		67,143	)																								
※主な特定財源																											
国庫支出金																											
県支出金																											
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 安全・安心な教育環境を提供するため、教育委員会と学校が連携し、修繕等学校施設の管理を行いました。																											
39																											
事業CD	560101	事業名	中学校運営事業	所管課	教育総務課																						
会計	一般会計			決算書頁	200	資料	無																				
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 学校と連携を取りながら、学校環境整備等に取り組むことができました。用務員業務委託については、大きなトラブル等もなく円滑に業務を行うことができました。また、暑さ対策のため、各校にミストファンを配備しました。																								
項	03	中学校費																									
目	01	学校管理費																									
予算額(千円)		33,276																									
決算額(千円)		32,700																									
(前年決算		30,552	)																								
※主な特定財源																											
国庫支出金																											
県支出金																											
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 生徒の教育環境の向上、円滑な学校運営の推進及び学校事務の効率化のため、学校と連携し、教育を行うための諸条件を整備しました。																											
40																											
				<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 更新時期を迎える施設が多く、長寿命化計画の整備予定の進捗状況から改修時期の再考が必要となります。長寿命化等の更新までの間、施設の状況等を把握し学校運営に支障が無いよう、対応時期、対応範囲等を検討しつつ維持管理に取り組めます。																							
				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>各種修繕</td> <td>7,800</td> <td>14,835</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>各種保守管理業務委託</td> <td>9,842</td> <td>9,918</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位	①	各種修繕	7,800	14,835	千円	②	各種保守管理業務委託	9,842	9,918	千円	③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位																							
①	各種修繕	7,800	14,835	千円																							
②	各種保守管理業務委託	9,842	9,918	千円																							
③																											
				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>中学校環境整備に伴う用務員委託</td> <td>15,240</td> <td>15,462</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>学校運営に伴う備品購入</td> <td>2,340</td> <td>6,174</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>中学校環境整備に伴う消耗品購入</td> <td>8,441</td> <td>8,474</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位	①	中学校環境整備に伴う用務員委託	15,240	15,462	千円	②	学校運営に伴う備品購入	2,340	6,174	千円	③	中学校環境整備に伴う消耗品購入	8,441	8,474	千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位																							
①	中学校環境整備に伴う用務員委託	15,240	15,462	千円																							
②	学校運営に伴う備品購入	2,340	6,174	千円																							
③	中学校環境整備に伴う消耗品購入	8,441	8,474	千円																							
				※②について、令和5年度寄附金を活用し、八幡西中学校綴帳取替を行いました。																							
				<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 学校運営備品等資源の有効活用を図るとともに、経年劣化・老朽化の状況に応じて備品等の修繕・更新を行い、引き続き生徒の学びを支える教育環境の充実に取り組んでいきます。																							

事業CD	562601	事業名	中学校脱炭素推進事業	所管課	教育総務課		
会計	一般会計			決算書頁	200	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 教室や廊下、階段等の日常的に使用する箇所について蛍光灯からLED照明に交換しました。保守管理を含めたリース方式であり施設管理者の負担がなく、また、照明器具等取替工事を含めた10年間の包括的賃貸借契約により、LED照明への更新費用について支出の平準化を図ることができました。				
項	03	中学校費					
目	01	学校管理費					
予算額(千円)		367					
決算額(千円)		221					
(前年決算		—					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 脱炭素化の推進、維持管理コストの軽減を目的として、蛍光灯からLED照明ランプ及び器具へ交換し、今後10年間の保守を含めた賃貸借を行いました。							
41							
事業CD	780205	事業名	八幡西中学校施設整備事業	所管課	教育総務課		
会計	一般会計			決算書頁	200	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 耐力度調査により、鉄筋コンクリート造の躯体の健全度が確認されたことから、長寿命化工事の実施に向け、基本設計に取り組みました。また、コンクリートの中性化進行を確認するため、調査を行い、基本設計に反映しました。				
項	03	中学校費					
目	01	学校管理費					
予算額(千円)		2,866					
決算額(千円)		2,866					
(前年決算		12,012					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 老朽化が進行する八幡西中学校の教育環境向上を目的として、長寿命化改良を実施するため、基本設計に取り組みました。							
42							
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 今回は、校舎棟の日常利用箇所のみへの対応であるため、屋内運動場のアリーナ及びステージ以外の日常利用箇所、グラウンド等の屋外照明についても、蛍光灯の製造・輸出入の終了に合わせ、LED照明への更新に取り組む必要がありますが、長寿命化等の施設更新も見据え計画します。							
<b>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</b>				令和5年度	令和6年度	単位	
①	中学校校舎LED照明器具賃貸借業務			-	221	千円	
②							
③							
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 躯体及び設備等の長寿命化、多様な学習内容、形態による活動が可能な環境の提供及び断熱等の省エネルギー対策等を行うため長寿命化改修の実施設計を行います。							

事業CD	780223	事業名	中学校防犯対策施設整備事業	所管課	教育総務課		
会計	一般会計			決算書頁	200	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 想定される侵入経路を吟味した上で、威嚇効果が高いと思われる位置に、夜間でも監視効果及び赤外線暗視ができるカメラの設置と、外部から視認性が高い箇所に「防犯カメラ作動中」の看板を3校に設置しました。また、常時職員室にいる教職員の目に触れる箇所に、撮影画像の表示モニター及び、一定期間画像保存が可能となるレコーダーの設置を行いました。				
項	03	中学校費					
目	01	学校管理費					
予算額(千円)		16,995					
決算額(千円)		16,896					
(前年決算		677					
※主な特定財源							
国庫支出金		1/2					
県支出金							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>							
生徒の安全を確保するため、不審者の侵入を心理的かつ物理的に防止できるよう、防犯カメラの設置を行いました。							
43							
事業CD	055301	事業名	中学校要保護生徒援助事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	200	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 申請者に対し正確な要否判定を行い、該当する対象者に修学旅行費の一部を期日までに給付し、経済的な理由で就学が困難な生徒の保護者の経済的負担を軽減しました。(1件当たり上限60,910円)				
項	03	中学校費					
目	02	教育振興費					
予算額(千円)		312					
決算額(千円)		305					
(前年決算		414					
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>							
義務教育の円滑な実施のため、要保護生徒の保護者に対し、生活保護で給付対象外である修学旅行費についてその一部を給付しました。							
44							
			<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 計画的に事務を遂行し、適正に給付します。				

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 設計業務委託	677	-	千円
② 防犯カメラ整備工事	-	16,896	千円
③			

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 援助が必要な保護者に修学旅行費の一部を給付	10	5	件
②			
③			

事業CD	055302	事業名	中学校準要保護生徒援助事業	所管課	学校教育課																						
会計	一般会計			決算書頁	200	資料	無																				
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 市要綱に基づき給付審査を行った結果、計234件が給付対象となり、経済的な理由で就学困難な生徒の保護者に対し、学校生活に必要な経費の一部を期日までに給付し、生徒が安心して就学できるよう図りました。 また、令和6年度新中学校1年生の保護者のうち、入学前給付審査で認定の判定を行った43件に新入学児童生徒学用品費を給付しました。(単価63,000円)																								
項	03	中学校費																									
目	02	教育振興費																									
予算額(千円)	25,993																										
決算額(千円)	23,213																										
(前年決算	24,584																										
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																											
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 義務教育の円滑な実施のため、経済的な理由で就学が困難な生徒の保護者に対し、学校生活に必要な学用品費、校外活動費、修学旅行費等の一部を給付しました。																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>学校生活に必要な経費を一部給付する</td> <td>234</td> <td>219</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位	①	学校生活に必要な経費を一部給付する	234	219	件	②					③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位																							
①	学校生活に必要な経費を一部給付する	234	219	件																							
②																											
③																											
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 生徒が安心して学校生活を送れるように、この事業を継続していくことが大切であると考えています。今後も迅速かつ適切に支給が行えるように努めます。																											
45																											
事業CD	055401	事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業	所管課	学校教育課																						
会計	一般会計			決算書頁	200	資料	無																				
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 申請に対して、家庭の経済状況等に応じた補助対象経費を決める支弁区分を判定し、国庫補助の要綱に従って給付事務を行いました。																								
項	03	中学校費																									
目	02	教育振興費																									
予算額(千円)	3,691																										
決算額(千円)	3,247																										
(前年決算	2,597																										
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																											
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 特別支援学級等に在籍する生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品費、学校給食費、校外活動費、修学旅行費等の一部を給付しました。																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>支弁区分の判定及び就学に係る経費の一部給付</td> <td>74</td> <td>86</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位	①	支弁区分の判定及び就学に係る経費の一部給付	74	86	件	②					③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位																							
①	支弁区分の判定及び就学に係る経費の一部給付	74	86	件																							
②																											
③																											
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 特別支援学級の在籍者は年々増加傾向にあるため、事業を継続することが必要と考えています。今後も迅速かつ適切に支給が行えるように努めます。																											
46																											

事業CD	562101	事業名	中学校教育教材事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	202	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 各学校が希望する教材備品については学校と連携しながら購入することができ、学校図書館の図書についても学校教諭や学校司書が生徒にとって必要な図書は何か考えながら選書し、中学校における教育環境及び読書環境の整備を実施することができました。 また、寄附金を活用しブックトラックを購入しました。																				
項	03	中学校費																					
目	02	教育振興費																					
予算額(千円)	7,182	決算額(千円)		7,143	(前年決算 5,625 )																		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金																					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		確かな学力を育む「子どもの学ぶ力」の向上を目指す学習活動につなげるため、中学校における教育環境及び読書環境の充実・整備に努めました。																					
47		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 教材備品(図書費含む)</td> <td>2,722</td> <td>4,070</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>② 教材消耗品</td> <td>2,903</td> <td>3,073</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 教材備品(図書費含む)	2,722	4,070	千円	② 教材消耗品	2,903	3,073	千円	③			千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 教材備品(図書費含む)	2,722	4,070	千円																				
② 教材消耗品	2,903	3,073	千円																				
③			千円																				
		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 学校と連携し、生徒の主体的な学習活動や豊かな心を育む読書活動を支援するため、教育教材や学校図書等の充実を図り、引き続き生徒の学びを支える教育環境の充実に取り組んでいきます。																					
事業CD	562501	事業名	中学校GIGAスクール構想推進事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	202	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 学校と連携し、大きなトラブル等なくネットワーク環境等を運営できました。 令和6年度よりデジタルAIドリルを導入しました。1人1台端末を学校と家庭の両方で効果的に活用し、個別最適な学習の推進に寄与することができました。 また、GIGAスクール構想による生徒1人1台端末の運用において、修繕や不具合時の交換対応に備え、予備機を追加購入しました。 学習系ネットワークについては保守委託によりサポートセンターを設置し、学校からの相談やタブレット端末の故障対応を実施することにより、学校において安心してICT機器を活用することができる環境を整えることができました。																				
項	03	中学校費																					
目	02	教育振興費																					
予算額(千円)	32,172	決算額(千円)		32,051	(前年決算 26,033 )																		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金																					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		生徒の創造性や情報活用能力の育成のため、GIGAスクール構想の実現に向けた学校のICT環境整備を行い、ICT機器を活用した学習活動を充実させました。																					
48		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① AIドリル</td> <td>-</td> <td>14,649</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>② 教育情報ネットワーク及び校務系システムに係るサービス提供</td> <td>22,869</td> <td>14,208</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③ 学習系ネットワーク保守</td> <td>284</td> <td>284</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① AIドリル	-	14,649	千円	② 教育情報ネットワーク及び校務系システムに係るサービス提供	22,869	14,208	千円	③ 学習系ネットワーク保守	284	284	千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① AIドリル	-	14,649	千円																				
② 教育情報ネットワーク及び校務系システムに係るサービス提供	22,869	14,208	千円																				
③ 学習系ネットワーク保守	284	284	千円																				
		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 整備したICT機器の活用方法については各学校のICT教育担当者が集まるICTリーダー推進部会を中心に、情報共有や連絡を行い、より良い授業や活用ができるように進めていきます。 また、持ち帰り学習を推進するため、引き続きAIドリルやフィルタリング機能を整備し、モバイルWi-Fiルーターの貸出に対応します。 なお、教職員の校務端末及びGIGAスクール構想による生徒1人1台端末を更新し、引き続き学校において安心してICT機器を活用することができる環境を整えていきます。																					

事業CD	600101	事業名	生涯学習推進事業	所管課	生涯学習課			
会計	一般会計			決算書頁	204	資料	無	
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 社会教育委員・公民館運営審議会において、生涯学習社会づくり実施計画管理、社会教育等を取り巻く状況から取組全般について助言、意見交流等をいただきました。また、視野を広げるために、市内コミュニティセンターのフィールドワークや長浜市との意見交流会をすることで、開かれた社会教育委員の会議に努めました。 子ども読書活動については、幼児課とともに就学前を含め子どもの読書活動の推進に取り組みました。4月23日の「子ども読書の日」では、小学校、中学校に子ども向けのおすすめ本のポスターを配布し、就学前施設には「うちどく」のリーフレットを配布しました。また、夏休みに読書の機会が増えるよう、小学生・中学生の子どもおすすめ本を載せた「うちどく」ポスターを配布しました。11月の「市民読書月間」では、各小・中学校の図書室にあるおすすめ本を学校司書に選んでいただき、ポスターを作成していただきました。各学校の図書室やクラスに掲示して、掲載された本を学年の廊下等手に取りやすいところに置くようにしました。また、市民大学講座で山登りに関連したブックリストを作成し配布しました。					
項	05	社会教育費						
目	01	社会教育総務費						
予算額(千円)	728	決算額(千円)		682				
(前年決算)	761							
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金						
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		社会教育・公民館審議会委員会の決定事項・意見を具体化した事業を実施し、『近江八幡市子ども読書活動推進計画(第3次)』に基づいて子どもの読書活動を推進しました。						
49		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 生涯学習社会実現を目指す中、生涯学習を通して自己実現や人材育成、広く社会参加につなげてまいります。						
事業CD	600201	事業名	社会教育関係団体育成事業	所管課	生涯学習課			
会計	一般会計			決算書頁	204	資料	無	
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ①社会教育関係団体助成では、社会教育の発展及び青少年の健全育成に資する団体が行う事業活動に対して補助金を交付し、事業の円滑な運営を支援しました。(1事業) ②近江八幡市PTA連合会と共同で社会教育関係団体を対象とした人権教育研修会を1回実施し、各団体の会員35人が参加しました。人権学習を内容に含む事業(住みよいまちづくり推進講座)を研修会として指定し、参加を奨励しました。 ③子ども体験活動推進事業補助金制度を新設し、子どもが多様な体験を通じて豊かな人間性及び社会性を身に付ける機会を充実させることを目的に、子どもが自発的に取り組める体験活動(4事業)を支援するとともに、市広報誌や市公式LINEを活用して制度の周知に努めました。					
項	05	社会教育費						
目	01	社会教育総務費						
予算額(千円)	1,706	決算額(千円)		622				
(前年決算)	335							
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金						
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		社会教育団体が行う事業活動や市内在住の小・中学生の体験活動を支援し、青少年の健全育成を図りました。						
50		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 子ども体験活動推進事業補助金制度の理解促進を図るため、具体的な体験活動例を示しながら、市広報誌や公式LINEなどを通じた積極的な情報発信を行います。また、申請時には丁寧な説明やサポートを行うことで、より多くの体験活動の展開と円滑な申請につなげていきます。						

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 社会教育委員・公民館運営審議会委員の会議の開催	3	3	回
② 子ども読書活動推進委員会の開催	5	2	回
③			

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 社会教育関係団体助成	5	1	事業
② 社会教育関係団体等人権教育研修会開催	1	1	回
③ 子ども体験活動推進事業助成		4	事業

事業CD	600501	事業名	コミュニティスクール・地域学校協働本部事業	所管課	生涯学習課		
会計	一般会計			決算書頁	204	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b>				
項	05	社会教育費	【コミュニティ・スクール(CS)】				
目	01	社会教育総務費	・令和3年度以降、全ての公立幼稚園、小学校及び中学校21校園において、学校運営協議会の取組を進めています。				
	予算額(千円)	4,973	・「地域と学校の協働」をめざす学校運営協議会では、学校からは経営方針や子どもたちの様子、地域住民への協力依頼が示され、地域からはめざす子ども像や地域のよさを大切にしたいという声寄せられ、学校の教育目標と地域の願いが重なりつつある姿が見られました。				
	決算額(千円)	4,788	・地域学校協働本部事業と連携し、ふるさと教育・防災教育・環境学習においては、地域講師による支援を通じて成果が表れています。				
	(前年決算	4,757	・令和6年度には、県のCSディレクター派遣事業を活用し、市内研修の充実と校園の実情に応じた助言を受けることで、学びを深めました。				
	※主な特定財源						
	国庫支出金	1/3					
	県支出金	1/3					
	<b>&lt;事業概要&gt;</b>						
	地域社会と学校が協働して活動を行うネットワークを形成すると共に、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実を図りました。						
	51						
事業CD	600502	事業名	家庭教育支援基盤構築事業	所管課	生涯学習課		
会計	一般会計			決算書頁	204	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b>				
項	05	社会教育費	・市内全12小学校に家庭教育支援員を配置し、各小学校の現状や課題に応じて、保護者からの子育ての相談に対応したり、家庭訪問をしたりしました。また、保護者対象のサロンを開催するなど、各校の現状に応じて幅広く支援活動を行いました。				
目	01	社会教育総務費	・子育てサロンを5回開催しました。講師として、教育委員やスクールソーシャルワーカーを招き、子育てや不登校対応について保護者が話せる場・相談できる場を設けました。参加者から「よかった」「たいへんよかった」という感想を得ることができました。				
	予算額(千円)	1,707	・家庭教育支援員の連絡会を5回行いました。日々の活動の情報交換・研修の機会とし、連絡会には、本市子育てコーディネーターをアドバイザーとして招き、支援員の活動への助言をいただきました。				
	決算額(千円)	1,698	・家庭教育推進協議会を2回開催し、市内の現状とそれに対する手立てについて話し合うことができました。子どもたちへの関わり方や困難さを抱える家庭や保護者の支援など、家庭教育支援に関する現状と課題について、熱心に議論することができました。				
	(前年決算	1,834					
	※主な特定財源						
	国庫支出金	1/3					
	県支出金	1/3					
	<b>&lt;事業概要&gt;</b>						
	身近な小学校区単位で、学校・家庭・地域をつなぐ家庭教育支援員を配置し、連携できる体制を整え、子育て講演会や相談・居場所づくりを行いました。						
	52						
	<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b>						
	親育ちと学習機会の充実として、滋賀県教育委員会の示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」や保護者のニーズ、学校の実態に応じて子育てをテーマにしたサロンを開催することで、保護者間の情報交換とつながりを広げ、悩みのある保護者の支援に努めます。						
	また、家庭教育支援体制の充実を図るため、市内の学校と連携・協力して、家庭教育支援員への情報提供や助言等を目的とした情報交換会を定期開催し、支援員同士の連携を深められるよう、事業の充実に取り組みます。						

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位
①	学校運営協議会の設置数	21	21	校園
②	地域学校協働本部事業委託校園所数	23	23	本部
③	地域学校協働活動推進員(旧コーディネーター)配置人数	23	23	人

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位
①	家庭教育支援員配置校数	12	12	校
②	各校家庭教育支援員との連携	3	6	回
③	近江八幡市子育てサロンの開催	5	5	回

事業CD	600503	事業名	放課後子ども教室推進事業	所管課	生涯学習課																		
会計	一般会計			決算書頁	204	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 令和6年度から、新たに島小学校においても事業が始まり、市内全ての12小学校で開催することができました。内容は、学力補充だけでなくニュースポーツ、防災学習、太鼓練習など各校、各地域で工夫していただき、子どもたちの安心・安全な居場所を作ることができました。																				
項	05	社会教育費																					
目	01	社会教育総務費																					
予算額(千円)		623																					
決算額(千円)		576																					
(前年決算		825																					
※主な特定財源																							
国庫支出金		1/3																					
県支出金		1/3																					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
各小学校区において、児童が安全に有意義に放課後を過ごす居場所を作るため、地域の力を活用した放課後子ども教室の推進に取り組みました。																							
53																							
事業CD	600701	事業名	夫婦都市児童相互交流事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	204	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 両市合わせて、計48名(富士宮市24名・近江八幡市24名)の児童が参加しました。昨年度同様に、適切な規模で行うことができました。 (活動内容) 一日目、開会式・仲間づくり活動・よし笛づくり 二日目、沖島タウンウォーク・木珠プレスレッド体験・信長の館見学 タベのつどい(キャンドルファイヤー) 三日目、近江八幡市内散策・閉会式 交歓会を通して、両市の伝統文化の交流や児童同士の友好を深めることができました。																				
項	05	社会教育費																					
目	01	社会教育総務費																					
予算額(千円)		2,223																					
決算額(千円)		2,222																					
(前年決算		507																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
夫婦都市の富士宮市と近江八幡市の小学生宿泊型交流体験活動を行いました。第54回目となる令和6年度は近江八幡市で開催しました。																							
54																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 事前研修会の開催</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>② 児童交歓会の開催</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 事前研修会の開催	2	2	回	② 児童交歓会の開催	3	3	日	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 事前研修会の開催	2	2	回																				
② 児童交歓会の開催	3	3	日																				
③																							
		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 令和7年度は、富士宮市での開催となります。コロナ禍以降、両市の担当課では、「熱中症対策だけでなく、児童の健康状態の把握も含め安全に実施していくためには、令和4年度、5年度で行った規模での実施を継続していく」ことで合意しています。今後も、本市は各校2名ずつの24名の参加を基本としていきます。文化交流(江州音頭)の取組は継続していきたいと考えています。																					

事業CD	604101	事業名	公民館運営事業	所管課	生涯学習課		
会計	一般会計			決算書頁	210	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ①市民大学講座:歴史・健康・文化などの幅広いテーマにより開催し、市民へ生涯学習の場の提供を行いました。(全5回実施) ②中央公民館講座:市全域における地域資産等の魅力再発見やふるさと近江八幡への愛着と誇りを醸成することを目的として、親子を主な対象とする講座を開催しました。(全3回実施) ③地域課題等学習講座:現代的・社会的課題について学習する機会として、地域が主体的に課題に取り組むための講座を実施しました。(全4回)				
項	05	社会教育費					
目	05	公民館費					
予算額(千円)	384	※主な特定財源 国庫支出金 県支出金					
決算額(千円)	371						
(前年決算)	379						
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 幅広い学習機会の提供のため、中央公民館講座・市民大学講座や各まちづくり協議会と連携した地域課題等学習に取り組みました。		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 多様な媒体による周知に努めるとともに、多くの市民に関心のある内容や、潜在的なニーズのある分野を検討し、講座の開催を継続します。					
55							
事業CD	604301	事業名	青少年育成事業	所管課	生涯学習課		
会計	一般会計			決算書頁	210	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 主に20歳を迎える市民14名で実行委員会を組織し、実行委員会を8回開催しました。実行委員は成人式の準備・企画等を行い、成人式当日の司会や運営を行いました。 実行委員会企画では過去最多となる協賛品の提供があり、例年以上に内容が充実したものとなりました。豪華な協賛品の数々は参加者の関心を集め、会場は大いに盛り上がり大変好評を博しました。 式典には570名が参加し、例年並みの参加率(74.4%)を維持しました。				
項	05	社会教育費					
目	06	青少年教育費					
予算額(千円)	315	※主な特定財源 国庫支出金 県支出金					
決算額(千円)	284						
(前年決算)	275						
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 市民の二十歳の節目を祝うとともに、大人としての自覚と責任を認識する場となるよう記念式典を開催しました。		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 人生の節目であり、社会人としての自覚につなげる式典として、参加しやすい形態と内容の充実に向けて検討を重ねながら、継続して開催していきます。					
56							

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 市民大学講座の開催	5	5	回
② 中央公民館講座の開催	3	3	回
③ 地域課題等学習講座の開催	3	4	回

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 成人式(参加者)	613	570	名
②			
③			

事業CD	604501	事業名	青少年対策事業	所管課	生涯学習課																		
会計	一般会計			決算書頁	210	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 近江八幡市青少年育成市民会議へ事業を委託し、青少年の健全育成を目的とした、以下の各種活動を進めました。「伝えよう！熱い思い」を開催し、中学生の発表機会の提供に資することができました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 近江八幡市青少年育成推進員の設置</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>② 近江八幡市青少年育成市民会議賛助会員加入件数</td> <td>183</td> <td>168</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 近江八幡市青少年育成推進員の設置	1	1	人	② 近江八幡市青少年育成市民会議賛助会員加入件数	183	168	件	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度						単位															
① 近江八幡市青少年育成推進員の設置	1	1						人															
② 近江八幡市青少年育成市民会議賛助会員加入件数	183	168						件															
③																							
項	05	社会教育費																					
目	07	青少年対策費																					
予算額(千円)	3,392	6月	伝えよう！熱い思い2024																				
決算額(千円)	3,199	7月	愛の学校訪問																				
(前年決算	2,791)	7~9月	青少年健全育成標語募集																				
		8・1月	巡回補導																				
		11月	子ども・若者育成支援強調月間内各種啓発活動																				
		12月	青少年育成市民大会																				
※主な特定財源		関係19団体・機関の代表者による青少年問題協議会を開催し、各団体・機関からの報告を基に、青少年の状況や課題について確認し、不登校や不良行為等への課題解決へ向けた取組について意見を交わしました。																					
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
青少年育成市民会議の活動を支援し、青少年の健全育成への全市的な取組を進めました。																							
57																							
事業CD	604601	事業名	子ども・若者育成支援事業	所管課	生涯学習課																		
会計	一般会計			決算書頁	210	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 令和4年度の相談窓口新設以降、市広報・HPやチラシ配布等による啓発周知を進めるとともに、相談体制を相談員1名から2名に増員し、相談対応の充実と関係機関との連携等に努めてきました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 子ども・若者相談窓口相談件数(延べ)</td> <td>273</td> <td>614</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 子ども・若者支援地域協議会(実務者会議等)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 子ども・若者相談窓口相談件数(延べ)	273	614		② 子ども・若者支援地域協議会(実務者会議等)	3	3		③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度						単位															
① 子ども・若者相談窓口相談件数(延べ)	273	614																					
② 子ども・若者支援地域協議会(実務者会議等)	3	3																					
③																							
項	05	社会教育費																					
目	07	青少年対策費																					
予算額(千円)	7,660	令和6年度の状況として相談件数が延べ614件、ひきこもりや不登校を主訴とする対応は全体の約8割となっています。また、支援機関が重複する相談が多いことから、相互連携の強化と円滑化等を目的に、協議会会議(計3回)を開催して、構成委員からの現場活動紹介・報告をして頂くことで、委員間の相互理解が深まり、関係機関の顔が見える関係づくりを進めました。																					
決算額(千円)	7,575																						
(前年決算	3,081)																						
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
社会生活を円滑に営むうえで困難を有する子ども・若者の支援に、関係機関によるネットワーク機能を構築し、相談者に寄り添った相談支援に取り組みました。																							
58																							
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 全国的に社会生活に困難を有する子ども・若者の相談内容やその背景は複雑化・多様化しています。このことから、関係機関が連携して取り組んでいく必要があり、顔が見える関係づくりに取り組むとともに、相談窓口の周知啓発に努めます。																							

事業CD	782501	事業名	子ども・若者育成支援施設整備事業	所管課	生涯学習課																		
会計	一般会計			決算書頁	212	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 教育支援機関の集約化による重層的支援体制の強化とともに、ひきこもりや不就労等社会的自立に困難を抱える子ども・若者の社会参加のきっかけづくりや起業・就労支援が行える拠点整備として、旧いきいきふれあいセンターの施設改修・増築工事に向けた設計業務を進めています。																				
項	05	社会教育費																					
目	07	青少年対策費																					
		予算額(千円) 10,453 決算額(千円) 7,260 (前年決算 - )																					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 教育支援機関の集約化による重層的支援を強化し、若者が自ら「職」を生み出すための起業支援を行うとともに、次世代を見据えた生涯学習の拠点となりうる新たな複合教育支援機能を整備しました。			<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 施設内で、それぞれの支援機関の専門性を活かしつつ、情報や課題を共有できる有機的な連携が図れるよう施設整備を行います。また、施設を利用する子ども・若者の状態やニーズに合わせながら「挑戦する意欲」が生まれ、就労・起業につながる複合的な支援を行えるよう施設を整備してまいります。																				
59																							
事業CD	604701	事業名	少年センター運営事業	所管課	生涯学習課																		
会計	一般会計			決算書頁	212	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 近江八幡・竜王少年センター運営委員会において活動方針、活動内容等を協議しながら取り組みました。 ○薬物乱用防止活動：薬物乱用防止教室／10校実施 防煙教室／4校実施（竜王町含む） 標語募集／1校実施 街頭啓発（近江八幡駅他3カ所） ○無職少年対策活動：指導3名、支援3名、就労・進学1名 ○広報・啓発活動 少年センターだより年2回発行、あすくるHARのリーフレット配布、啓発人形劇実施6回（742名） ○非行少年等立ち直り支援（あすくる）活動：無職少年等5名・高校生6名・中学生3名に対する支援（就学支援87回、就労支援14回、家庭支援31回、自分探し523回）																				
項	05	社会教育費																					
目	08	少年センター運営費																					
		予算額(千円) 20,992 決算額(千円) 20,992 (前年決算 20,172 )																					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 近江八幡・竜王少年センターを竜王町と共同設置し、近江八幡警察署と連携のもと、少年補導委員会活動を支援し、総合的な非行防止・立ち直り支援を行いました。			<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 街頭補導活動の実施</td> <td>613</td> <td>544</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>② 相談活動の実施</td> <td>214</td> <td>243</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>③ 店舗立入調査の実施</td> <td>122</td> <td>112</td> <td>回</td> </tr> </tbody> </table>					事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 街頭補導活動の実施	613	544	回	② 相談活動の実施	214	243	回	③ 店舗立入調査の実施	122	112	回
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 街頭補導活動の実施	613	544	回																				
② 相談活動の実施	214	243	回																				
③ 店舗立入調査の実施	122	112	回																				
60			<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 発達障害など特性のある少年や不登校・ひきこもり等の少年の支援が増えていることから、学校や医療機関等を含めた関係機関との連携を強化します。あすくるHARにおいては、少年にとって「つながる場所」「居心地の良い場所」、保護者にとって「気軽に相談できる場所」という理解度と認知度向上のため、継続して啓発を進めます。																				

事業CD	604901	事業名	人権教育推進事業	所管課	生涯学習課			
会計	一般会計			決算書頁	212	資料	無	
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 生きぬき力の礎育み事業を市内4中学校区すべてで実施しました。定期的に各校園所の担当者や加配教員の連絡会議を開催し、各校園所の人権教育等に関する実践を交流するとともに、特に困難な課題のある子どもの状況について情報共有を行い、解決に向けた方策を検討しました。 また、小学校4年生から中学校3年生までを対象とした年2回のアンケートを通じて、子どもの様子や変容をつかみ、子どもへの関わり方や家庭も含めた支援の方策について考える材料としました。さらに、各中学校区で、実践研究会を実施し、校区内の各校園所の全教職員・保育士が一斉に集まり、講演会、研究会を通して子どもの課題を共有して、校区での共通実践づくりをすすめました。市立の全幼稚園、こども園、小中学校の人権教育推進主任、同和教育主任を集めて3回の主任会を開催しました。情報交換や講演、実践報告を行って、主任としての資質向上を図りました。また、市立校園所の全教職員への「令和6年人権教育推進計画」の配布と各校園所への実践事例集の配布によって、各校園所での人権教育の充実を図りました。					
項	05	社会教育費						
目	09	人権教育振興費						
予算額(千円)	609	決算額(千円)		606	(前年決算)	546		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金						
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		子どもたちの学ぶ意欲を支える自尊心を高めるための具体的な方策を考え、実践に結びつけました。また、様々な人権教育を行うための職員研修に取り組みました。						
61		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 各中学校区では、校園所や子どもセンターが連携し、校区の共通テーマに沿った研修と実践が必要です。学校現場では若手教員が増加しており、今後の人権教育の進め方を検討することが求められています。現場の状況を踏まえて効果的な研修を実施し、人権通信も活用しながら、人権教育の充実を図ります。社会教育では、日常生活における態度や行動を通じて人権意識を育み、市民全体に「近江八幡市人権擁護都市宣言」の普及を進め、人権が息づくまちの実現に努めます。						
事業CD	082201	事業名	図書館施設維持管理事業	所管課	近江八幡図書館			
会計	一般会計			決算書頁	212	資料	無	
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・来館者に支障なく利用いただけるよう適切な施設維持管理に努めました。 近江八幡館は、昇降機設備、玄関床タイル、駐車場インターロッキング、トイレ設備等の修繕を行いました。 安土館は、照明器具設備、本棚転倒防止等の修繕を行いました。その他、公共施設建築物定期点検、空調設備保守点検、自家用電気工作物施設保安管理、空気環境測定等を実施しました。					
項	05	社会教育費						
目	11	図書館費						
予算額(千円)	26,715	決算額(千円)		26,655	(前年決算)	29,853		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金						
<b>&lt;事業概要&gt;</b>		市民に安心、安全に利用してもらえるよう施設維持管理及び計画的な修繕を行いました。						
62		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 両館ともに開館後約30年となり、建物及び設備の老朽化が顕著になってきており、令和5年度に実施された老朽度調査結果に基づき、先延ばしすることなく計画的に施設・設備の修繕工事を行うとともに、施設の長寿命化と利用者の利便性を維持・向上していく必要があります。						

事業CD	605101	事業名	図書館運営事業	所管課	近江八幡図書館		
会計	一般会計			決算書頁	212	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b>				
項	05	社会教育費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書配送サービスは、年間47回実施し、利用者2,774人、8,890冊(令和5年度は48回、2,584人7,695冊)の貸出がありました。貸出冊数の内訳は、市内コミュニティセンターに8,390冊、医療センターに500冊となっています。利用人数は190人増え、前年度比107.4%となりました。移動図書館と図書配送サービスを併用する利用者もみられ、遠隔地へサービスの充実を図ることができました。</li> <li>・沖島配本サービスは、年6回実施、67人が利用し、438冊の貸出がありました。</li> <li>・障がい者サービスとして、2名にデジジー図書4点を提供しました。</li> <li>・「近江八幡市立図書館ボランティア」20名により、1,986冊の本の修理と338冊の本の整備を行いました。</li> <li>・デジタルアーカイブ事業では、市内外問わずアクセスされ、郷土関係の調査や貴重資料の閲覧に役立ちました。アクセス件数は270,306件(令和5年度は179,515件)でした。</li> <li>・図書館内の集会施設等の貸出は、全126件(うち11件が有料)1,627人の利用がありました。</li> <li>・安土図書館開館30周年記念事業として、「絵本作家はやしすみさん新作絵本原画展」と「絵本作家はやしすみ・作家中野順哉トークショー」を開催しました。</li> </ul>				
目	11	図書館費					
		予算額(千円)	45,919				
		決算額(千円)	45,264				
		(前年決算)	38,299				
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>							
「第2期近江八幡市立図書館サービス基本計画」に基づき図書館運営を行い、市民への読書普及を図りました。							
63							
事業CD	605301	事業名	読書活動推進事業	所管課	近江八幡図書館		
会計	一般会計			決算書頁	214	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b>				
項	05	社会教育費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の近江八幡館・安土館の総貸出冊数は587,346冊(個人貸出冊数577,770冊、団体貸出冊数9,576冊)となりました。移動図書館を含む総貸出冊数は607,120冊(個人貸出冊数592,678冊、団体貸出冊数14,442冊)となりました。</li> <li>・個人貸出冊数は、令和6年発行の『図書館年鑑2024』「人口10万未満(8万以上)の部」において、全国15位となりました(令和4年度実績)。※令和3年度:11位、令和2年度:12位、令和元年度:16位</li> <li>・市民一人あたりの個人貸出冊数は7.1冊(移動図書館を含むと7.3冊)となりました。(県内市町立図書館総貸出冊数の県民一人あたり貸出冊数6.74冊)</li> <li>・リクエストを63,756件、レファレンスを3,672件受け、利用者の要求に迅速かつ的確に応えました。</li> <li>・図書リサイクル事業の近江八幡読書グループ連絡会(ゆっくぶっく)へ除籍本を5,035冊譲渡し、1,331冊が販売され、読書関係講演会の実施に活用されています。事業は、近江八幡図書館で毎月2回開催され、月に100人前後が来場され、利用が定着してきています。</li> </ul>				
目	11	図書館費					
		予算額(千円)	19,112				
		決算額(千円)	19,112				
		(前年決算)	19,312				
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>							
社会情勢に即した新しい情報、市民ニーズに的確に応えられる資料の提供が行えるよう、限られた予算を最大限に活用し更なる図書及び資料の充実を図りました。							
64							
			<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b>				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、市民のニーズに応えられるよう、幅広く選書及び蔵書管理を行います。</li> <li>・コーナー展示により、リクエスト本や新刊以外の資料を魅力的に紹介することで、蔵書の有効活用及び市民の読書領域を広げ、図書館利用の更なる活性化を図ります。</li> </ul>				

事業CD	605401	事業名	ブックスタート運営事業	所管課	近江八幡図書館																		
会計	一般会計			決算書頁	214	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・令和6年度の乳幼児(0～3歳)の新規登録者は550人(令和5年度510人)で、前年度比107.8%となりました。乳幼児への貸出冊数は、22,330冊(令和5年度15,813冊)で前年度比141.2%となり、ブックスタート時の保護者への啓発が利用につながったと考えられます。 ・乳幼児向けのおはなし会「おはなしメリーゴーランド」の参加人数も、令和6年度は474人(令和5年度447人)と、前年度比106%となり、乳幼児や保護者がともに本に親しむ機会を提供することができました。 ・ブックスタート時に配布した絵本は『いないいないばあ』96冊、『くだもの』210冊、『ごぶごぶごぼごぼ』106冊、『まるまる』164冊で、4か月健診時の乳児576人に配布し、いつでも家庭で絵本に触れられる環境づくりに努めました。																				
項	05	社会教育費																					
目	11	図書館費																					
予算額(千円)	841	決算額(千円)		841																			
(前年決算)	858																						
※主な特定財源		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 4か月健診時に赤ちゃんと保護者へ本の読み聞かせをし、ファーストブックを手渡す</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>② 幼いころから本に親しむ環境づくり(乳幼児の利用カード登録人数)</td> <td>510</td> <td>550</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>③ 本に親しむ習慣を身につけてもらう(乳幼児の貸出冊数)</td> <td>15,813</td> <td>22,330</td> <td>冊</td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 4か月健診時に赤ちゃんと保護者へ本の読み聞かせをし、ファーストブックを手渡す	100	100	%	② 幼いころから本に親しむ環境づくり(乳幼児の利用カード登録人数)	510	550	人	③ 本に親しむ習慣を身につけてもらう(乳幼児の貸出冊数)	15,813	22,330	冊
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 4か月健診時に赤ちゃんと保護者へ本の読み聞かせをし、ファーストブックを手渡す	100	100	%																				
② 幼いころから本に親しむ環境づくり(乳幼児の利用カード登録人数)	510	550	人																				
③ 本に親しむ習慣を身につけてもらう(乳幼児の貸出冊数)	15,813	22,330	冊																				
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 4か月児健診時、赤ちゃんと保護者にメッセージを伝え、絵本をひらく楽しい「体験」とともに「絵本」を贈り、家庭に本のある環境づくりを推進しました。		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> ・引き続き、市内のすべての赤ちゃんと保護者に親子で絵本を楽しむことの大切さを伝え、幼いころから読書習慣を身につけてもらうよう努めます。 ・絵本の大切さを伝えられるよう、更なる職員の資質の向上に努めます。																					
65																							
事業CD	605601	事業名	本のまち！動く図書館事業	所管課	近江八幡図書館																		
会計	一般会計			決算書頁	214	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・「はちっこぶっく号」では、一般利用者向けの市内各コミュニティセンター(八幡、沖島、安土除く)8か所・サンビレッジ近江八幡・フレンドマート八幡鷹飼店・フレンドマート安土店の計11か所と、図書館から遠い地域の公立の就学前施設4か所及び公立小中学校7か所の計11か所、合わせて22か所をほぼ毎月定期巡回しました。 ・通常の定期巡回以外に、国スポ・障スポイベントや子どもセンター、未巡回の就学前施設等に、はちっこぶっく号で7回、はちっこぶっく号ミニで17回、計24回の特別巡回を実施し、移動図書館車のPR及び読書推進を図りました。特に、はちっこぶっく号ミニでの特別巡回は、令和5年度から10回増加し、未巡回の就学前施設への巡回を積極的に行ったことで、未就学児の読書推進と次年度の巡回施設の増加に繋がりました。 ・はちっこぶっく号ミニでの就学前施設巡回では、おはなし会を必ず実施し、本を貸し出すだけでなく、ストーリーテリングを楽しむことで、想像力を養い、就学までに聞く姿勢を身につけてもらえるよう努めました。※おはなし会実施回数：年間136回																				
項	05	社会教育費																					
目	11	図書館費																					
予算額(千円)	10,163	決算額(千円)		9,681																			
(前年決算)	8,776																						
※主な特定財源		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 移動図書館車の巡回ステーションの数(不定期巡回を含む)</td> <td>43</td> <td>48</td> <td>か所</td> </tr> <tr> <td>② 移動図書館での貸出冊数(不定期巡回を含む)</td> <td>20,709</td> <td>19,774</td> <td>冊</td> </tr> <tr> <td>③ 移動図書館の蔵書の充実(購入冊数)</td> <td>3,249</td> <td>3,821</td> <td>冊</td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 移動図書館車の巡回ステーションの数(不定期巡回を含む)	43	48	か所	② 移動図書館での貸出冊数(不定期巡回を含む)	20,709	19,774	冊	③ 移動図書館の蔵書の充実(購入冊数)	3,249	3,821	冊
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 移動図書館車の巡回ステーションの数(不定期巡回を含む)	43	48	か所																				
② 移動図書館での貸出冊数(不定期巡回を含む)	20,709	19,774	冊																				
③ 移動図書館の蔵書の充実(購入冊数)	3,249	3,821	冊																				
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 移動図書館車を運行し、市内のどこでも誰もが本に触れられる環境づくりを行うとともに、市全域にわたる読書推進を図りました。		※移動図書館車年間出動回数309回  <b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> ・移動図書館車業務は地域住民に直接貸出サービスを行うため、コミュニケーション能力と幅広い本の知識が必要です。そのため、更なる司書の資質の向上に努めます。 ・すべての市民に読書の機会を保障し、保護者の興味関心に関わらず、子どもたちが自ら本を選び借りることができる環境を整えることが必要です。																					
66																							

事業CD	650101	事業名	学校保健管理運営事業	所管課	学校教育課			
会計	一般会計			決算書頁	216	資料	無	
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ・学校三師に協力いただきながら、児童生徒および教職員の健康の保持増進に取り組むことができました。 ・「脂質検査」は、5年生の77.7%が受け、そのうち、有所見者(判定3・4)は18.7%でした。有所見者と肥満度30以上の児童には、食事アンケートと運動調査を基に生活改善を促し、さらに「親子でここに健康教室」への参加を呼びかけ、親子で直接医師や栄養教諭からの指導を受ける機会に繋がりました(参加者33組の親子)。 ・平成28年度から、教職員に対して「ストレスチェック」が導入され、令和6年度は、517名(対象者の93.0%)が受検し、職場評価結果は各校に送付して職場環境の改善に役立てることができました。 ・「学校保健を語る会」では、辻正人氏による『子どもが勝手に動く言葉がけ～君は天才!～』と題した講演会を開催しました(参加者116名)。日ごろの子育ての場面での具体的な言葉がけなど、保護者にとって大変興味深い内容を分かりやすく伝えていただきました。					
項	06	保健体育費						
目	01	学校保健費						
予算額(千円)		37,293						
決算額(千円)		36,097						
(前年決算)		36,929						
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金								
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 学校保健安全法に基づき、学校における保健管理及び安全管理のため、学校医、学校歯科医、学校薬剤師と連携し、事故・疾患対策を含む学校保健事業を行いました。								
67								
事業CD	020108	事業名	スポーツ推進委員報酬	所管課	スポーツ課			
会計	一般会計			決算書頁	216	資料	無	
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ①水郷の里マラソンなど、市が主催する各種スポーツイベントへ参画し、運営協力しました。 ・参画したイベント回数 7回、参画した委員数 延べ114人 ②ニュースポーツ出前講座では、学区や自治会単位での依頼や各小学校親子活動などへスポーツ推進委員が出向き、ニュースポーツの指導を行いました。 ・派遣回数 28回、派遣人数 延べ101人、参加者 803人 ③全国や近畿地区、滋賀県など各種研修会へ参加し、スポーツ指導に関する教養を深め、他府県、他市町委員との情報共有を図りました。 ・参加した研修回数 5回、参加者数 延べ70人					
項	06	保健体育費						
目	02	体育振興費						
予算額(千円)		4,452						
決算額(千円)		4,312						
(前年決算)		4,356						
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金								
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 市が実施するスポーツイベントへの参画及びスポーツの指導、ニュースポーツ出前講座の開催などを行うスポーツ推進委員を委嘱し、スポーツの推進を図りました。								
68								
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 「ニュースポーツ出前講座」においては、スポーツ推進委員の指導により、ニュースポーツのルールや進め方を覚えてもらい、次回以降は各団体でニュースポーツを楽しんでもらうのが講座の目的ですが、スポーツ推進委員の派遣が毎年、毎回の定番化となっており、本来の目的が達成しづらい状況です。 また、スポーツ推進委員のスキルアップのため、各種研修会や講習会への積極的な参加を促します。								

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動				令和5年度	令和6年度	単位
①	児童生徒の健康診断の実施			5	5	回
②	教職員健康診断の実施			7	7	日
③	市学校保健会事業・各種教室等の開催			2	2	日

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動				令和5年度	令和6年度	単位
①	市主催スポーツイベントへの参画			7	7	回
②	ニュースポーツ出前講座への派遣			28	28	回
③	各種研修会への参加			6	5	回

事業CD	651101	事業名	スポーツ振興推進事業	所管課	スポーツ課		
会計	一般会計			決算書頁	216	資料	有
款	10 教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b>					
項	06 保健体育費	2024水郷の里マラソン大会や第71回記念近江八幡市駅伝競走大会、スポーツフェスティバル2024などを開催し、市民の健康増進とスポーツの普及に努めました。					
目	02 体育振興費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024水郷の里マラソン大会 1,330人</li> <li>・第71回近江八幡市駅伝競走大会 580人</li> <li>・スポーツフェスティバル2024 1,714人</li> <li>・第46回市民軟式野球大会 190人</li> <li>・第45回市民バレーボール大会 173人</li> <li>・第41回トリプルテニス大会 45人</li> <li>・市民総合スポーツ大会 2,195人</li> <li>・第31回親善スポレック大会 22人</li> <li>・近江八幡スキー教室in近江八幡 10人</li> <li>・BaseBall Meeting in 近江八幡 1,580人</li> </ul>					
予算額(千円)		25,629		【10事業・参加者7,839人】			
決算額(千円)		23,845					
(前年決算)		25,858					
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
スポーツ振興くじ助成金		4/5					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>							
スポーツをする機会の充実を図るため、各種スポーツ大会等を開催し、市民の健康づくりなど、スポーツの推進を図りました。							
69							
事業CD	651101	事業名	スポーツ振興推進事業	所管課	スポーツ課		

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位
①	各種スポーツ大会・イベントの開催	5,850	7,839	人
②				
③				

**<課題、今後の取り組み>**

常に新しい情報の取得と発信、市民ニーズに即したスポーツイベント等の企画運営、各学区へのスポーツ交流の広がり、深まりが重要と捉えており、周知方法についても工夫を凝らし、誰もが参加できる大会やイベントの企画・運営、レクリエーションスポーツの情報発信などにより、市域から各学区へのスポーツ交流の取り組みへと繋げていきます。  
また、第3期近江八幡市スポーツ推進計画に基づき、アクションプランに掲げた事業に取り組み、効果的にスポーツ推進を図ります。



2024水郷の里マラソン大会



第71回近江八幡市駅伝競走大会



スポーツフェスティバル2024



2025 BaseBall Meeting in 近江八幡

事業CD	651102	事業名	スポーツ教室運営事業	所管課	スポーツ課			
会計	一般会計			決算書頁	216	資料	有	
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 各種スポーツ教室を開催し、市民のスポーツ機会の充実と健康増進を図りました。 ・ゴルフ教室(春コース) 月曜コース160人/金曜コース65人 ・ゴルフ教室(秋コース) 月曜コース121人/金曜コース46人 ・ハンドボール教室(前期) 700人 ・ハンドボール教室(後期) 763人 ・ソフトテニス教室 273人 ・なぎなた教室 98人 ・美upヨガ教室 19人 ・テニス教室・キッズテニス教室 113人 ・シニア卓球教室 63人 ・日本代表選手とカヌー体験教室 13人 ・パラスポーツ体験会 100人 <div style="text-align: right;">【11教室・参加者2,544人】</div>					
項	06	保健体育費						
目	02	体育振興費						
予算額(千円)	1,728	決算額(千円)		1,565				
(前年決算	1,565	)						
※主な特定財源								
国庫支出金								
県支出金								
<b>&lt;事業概要&gt;</b>								
スポーツをする機会の充実を図るため、市民が気軽に参加できるスポーツ教室を開催し、市民の健康づくりなど、スポーツの推進を図りました。								
70								

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和5年度	令和6年度	単位
①	各種スポーツ教室の開催	2,523	2,544	人
②				
③				

**<課題、今後の取り組み>**

最新の情報を収集し、市民が興味を持って気軽に参加できるスポーツ教室の充実を図ります。また、関係団体や保護者等との連携を深め、障がいを持つ人がより参加しやすい環境整備やメニューを検討していきます。次年度以降もパラスポーツ体験会等の開催により、パラスポーツの魅力発信と障がいの有無にかかわらず市民の交流機会の創出を図っていきます。

事業CD	651102	事業名	スポーツ教室運営事業	所管課	スポーツ課
------	--------	-----	------------	-----	-------



日本代表選手とカヌー体験教室



シニア卓球教室



パラスポーツ体験会(シットティングバレーボール)



ソフトテニス教室

事業CD	651301	事業名	学校体育施設開放事業	所管課	スポーツ課		
会計	一般会計			決算書頁	218	資料	無
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 学区ごとの開放委運営委員会へ施設の受付・管理業務等を委託し、身近なスポーツ施設として開放することで、各学区の様々なスポーツ団体など、58,085人の利用がありました。 ・開放校数 15校 ・開放時間 6,949時間 ・利用者数 58,085人				
項	06	保健体育費					
目	02	体育振興費					
予算額(千円)		2,125					
決算額(千円)		2,100					
(前年決算		2,472					
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>							
市民のスポーツ活動の場として身近な学校体育施設を開放し、青少年の健全育成と地域スポーツの推進を図りました。							
71							
		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 管理者が各校体育館等に常駐していないため、防犯・防災等が各学区開放運営委員会に委ねられている状況となっています。このため、防犯・防災等の研修・啓発を開放運営委員会が定期的に行うことが重要となります。 また、公共施設予約システムによって運営する委員会が少なく、大半がメールや紙ベースでのアナログ方式でのやり取りであり、事務手続きの間違いの原因となり得ることから、全施設のシステム運用実現に向けて取り組みます。					
事業CD	652301	事業名	第79回国民スポーツ大会運営準備事業	所管課	国スポ・障スポ推進課		
会計	一般会計			決算書頁	218	資料	有
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 「わたSHIGA輝<国スポ・障スポ 近江八幡市実行委員会>」に負担金を支出しました。  負担金 147,900千円				
項	06	保健体育費					
目	02	体育振興費					
予算額(千円)		150,464					
決算額(千円)		149,652					
(前年決算		16,621					
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金		1/2他					
<b>&lt;事業概要&gt;</b>							
第79回国民スポーツ大会開催に向けた準備を行う「近江八幡市実行委員会」及びリハーサル大会開催にかかる経費を市が負担しました。							
72							
		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 今後も大会開催に向けた円滑な運営・準備のために、適切に負担金を支出します。					

事業CD	652301	事業名	第79回国民スポーツ大会運営準備事業	所管課	国スポ・障スポ推進課
------	--------	-----	--------------------	-----	------------



バレーボール リハーサル大会



トライアスロン リハーサル大会



佐賀国スポ 視察



開催1年前イベント



会場装飾品製作  
LEGOで作ろう!幻の安土城  
ワークショップ



啓発グッズ  
レジャーシート

事業CD	083101	事業名	給食センター施設維持管理事業	所管課	学校給食センター
会計	一般会計			決算書頁	218 資料 無

款	10	教育費
項	06	保健体育費
目	03	学校給食費

**<成果・実績>**  
安全・安心な学校給食を提供するため、給食センター施設・設備に関する施設修繕41件(14,666千円)、物品修繕3件(300千円)、ボイラ設備や冷温水機等の保守点検のための管理委託13件(11,908千円)を行い、給食センター施設の維持管理に努めました。

予算額(千円)	32,717
決算額(千円)	29,189
(前年決算	32,395 )

※主な特定財源  
国庫支出金  
県支出金

**<事業概要>**  
安全・安心な学校給食を提供するため、給食センター施設及び各校園の配膳室等の維持管理や衛生管理を行いました。

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位
① 施設修繕対応	46	41	件
② 物品修繕対応	7	3	件
③ 維持管理委託	11	13	件

**<課題、今後の取り組み>**  
安全・安心に学校給食を提供するため、年間を通して施設等の維持管理に努め、設備の故障等不具合が発生した場合には、速やかに修繕対応を実施します。

事業CD	655201	事業名	給食センター運営事業	所管課	学校給食センター																		
会計	一般会計			決算書頁	218	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 「学校給食年間実施計画」に基づき184回の給食提供を行いました。 学校給食運営については、各種マニュアルを徹底するとともに、学校給食運営委員会等を開催し様々な立場の方からの意見を反映し、安心安全な学校給食を提供しました。献立内容については、「はちまんの日」を中心に地場産物や特産品を取り入れ、ふるさと教育や地産地消の推進にも取り組みました。近年課題となっている“食品ロス”や“減塩”を重点取組とし、給食をとおして児童生徒園児に伝えるとともに、市ホームページやSNSでも啓発を行いました。 学校給食費の物価高騰による値上げ分については、昨年度に引き続き保護者負担額は据え置き、保護者負担を増やす事なく学校給食摂取基準を満たした給食を提供しました。																				
項	06	保健体育費																					
目	03	学校給食費																					
予算額(千円)	708,497	決算額(千円)		707,815	(前年決算 705,502)																		
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 安心安全な学校給食を提供するため、学校給食食材の購入、調理等業務の民間委託等を行いました。また、学校給食費の徴収管理業務を行いました。				<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 調理・配送・配膳業務の民間委託による実施</td> <td>188</td> <td>184</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>② 献立表及び食育啓発紙の配布</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 調理・配送・配膳業務の民間委託による実施	188	184	回	② 献立表及び食育啓発紙の配布	22	22	箇所	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 調理・配送・配膳業務の民間委託による実施	188	184	回																				
② 献立表及び食育啓発紙の配布	22	22	箇所																				
③																							
74				<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 各種マニュアルを遵守するとともに、学校給食運営委員会等の開催などにより、誤食事故や食中毒、異物混入を防止し、安全・安心な学校給食の提供に努めます。 令和8年度から実施予定の小中学校の学校給食費無償化に向けて、条例整備を行います。																			
事業CD	655301	事業名	学校給食費多子世帯補助事業	所管課	学校給食センター																		
会計	一般会計			決算書頁	220	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 多子世帯の給食費相当額の補助を行うことで、子育てに係る経済的負担の軽減を図りました。																				
項	06	保健体育費																					
目	03	学校給食費																					
予算額(千円)	4,349	決算額(千円)		2,675	(前年決算 2,706)																		
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 給食費の無料化を段階的に行うため、第2子以降の給食費相当額に対する補助による子育て支援を行いました。				<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 交付決定人数</td> <td>111</td> <td>104</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 交付決定人数	111	104	人	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 交付決定人数	111	104	人																				
②																							
③																							
75				<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 多子世帯の給食費相当額の補助を継続し、多子世帯の子育てに係る経済的負担軽減を図ります。 令和8年度から実施予定の小中学校の学校給食費無償化に向けて、当事業の制度についても検討し補助金交付要綱を整備します。																			

事業CD	785501	事業名	給食センター施設整備事業	所管課	学校給食センター																		
会計	一般会計			決算書頁	220	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 令和5年度の施設調査委託の結果を踏まえ、夏休み等長期休暇を活用し、床下点検口増設工事及び地下ピット蒸気管(調理室系統・洗浄室系統)取替工事を実施しました。																				
項	06	保健体育費																					
目	03	学校給食費																					
予算額(千円) 68,688 決算額(千円) 49,394 (前年決算 22,814 )																							
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 給食センター施設の長寿命化を図るため、施設内部各所の劣化が進んでいる部分等から計画的に改修を行いました。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 地下点検口増設工事</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>② 地下ピット配管緊急修繕工事</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 地下点検口増設工事	2	1	件	② 地下ピット配管緊急修繕工事	1	1	件	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 地下点検口増設工事	2	1	件																				
② 地下ピット配管緊急修繕工事	1	1	件																				
③																							
76		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 学校給食改修工事計画に基づき計画的に改修を行います。 ・令和7年度:地下ピット給水管(調理室・検収室系統)・排水管(洗浄室系統)取替工事、照明器具LED化工事 ・令和8年度:給水管(洗浄室・コンテナプール庫系統)・排水管(調理室・コンテナプール庫系統)、電気設備工事等 ・令和9年度:蒸気管(機械室系統)、天井蒸気管																					
事業CD	083501	事業名	社会体育施設維持管理事業	所管課	スポーツ課																		
会計	一般会計			決算書頁	220	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 安心・安全で快適なスポーツ環境を提供するため、所管する12施設の適正な維持管理と管理運営に努めました。 ・所管施設数 12施設(桐原体育館は10月より休止) ・年間利用者数 392,358人																				
項	06	保健体育費																					
目	04	社会体育施設管理費																					
予算額(千円) 37,728 決算額(千円) 33,664 (前年決算 25,809 )																							
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 利用者に各社会体育施設を安心・安全に利用していただくために、維持管理及び管理運営に努めました。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 社会体育施設利用者数</td> <td>399,363</td> <td>392,358</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 社会体育施設利用者数	399,363	392,358	人	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 社会体育施設利用者数	399,363	392,358	人																				
②																							
③																							
77		<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 各施設の老朽化が著しく、施設や設備、備品の修繕が年々増加しており、修繕・改修の年次計画の再検討が急務となっています。加えて、所管施設数や苦情、修繕対応件数が増える一方であり、担当職員の負担が過多となっています。 また、改修が完了したカローラ滋賀はちまんスタジアムの多目的利用に向けた施設の管理運営について、検討を進めていきます。																					

事業CD	083601		駅南総合スポーツ施設維持管理事業	所管課	スポーツ課																		
会計	一般会計			決算書頁	220	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 安心・安全かつ快適なスポーツ環境を提供するため、指定管理者との連携を図り、適正な施設維持管理と円滑な管理運営を行いました。 ・年間利用者数 42,421人 ※12月～3月は改修工事により休館。																				
項	06	保健体育費																					
目	04	社会体育施設管理費																					
予算額(千円)	11,596	決算額(千円)		11,450	(前年決算 9,490 )																		
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 利用者に駅南総合スポーツ施設を安全かつ快適に利用していただくため、指定管理者と連携を図り、施設の適正かつ円滑な管理運営を行いました。				<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 駅南総合スポーツ施設利用者数</td> <td>57,280</td> <td>42,421</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 駅南総合スポーツ施設利用者数	57,280	42,421	人	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 駅南総合スポーツ施設利用者数	57,280	42,421	人																				
②																							
③																							
78				<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 長年の懸案事項であったキュービクルや便所の洋式化などについては、国スポ・障スポに向けた改修工事で改善されましたが、近年の酷暑や熱中症対策としての空調整備や施設・備品の老朽化にかかる修繕や買い替えの年次計画の再検討が急務となっています。																			
事業CD	651501	事業名	社会体育施設一般管理事業	所管課	スポーツ課																		
会計	一般会計			決算書頁	222	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 公共施設予約システムの運用を開始し、市民により便利に社会体育施設の予約と利用をしてもらい、市民のスポーツ振興に努めました。 ・公共施設予約システム登録者数(社会体育施設分) 3,361人・団体 また、安心・安全に利用できる社会体育施設を提供するため、各施設の適正な管理運営に努めました。																				
項	06	保健体育費																					
目	04	社会体育施設管理費																					
予算額(千円)	10,284	決算額(千円)		9,763	(前年決算 13,328 )																		
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b> 年間を通して利用者にスポーツに親しんでいただける場を提供するため、各社会体育施設の適切な管理運営を行いました。				<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 社会体育施設利用者数</td> <td>399,363</td> <td>392,358</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 社会体育施設利用者数	399,363	392,358	人	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 社会体育施設利用者数	399,363	392,358	人																				
②																							
③																							
79				<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 各施設や備品の老朽化が著しく、修繕が年々増加しています。 また、学校体育施設(夜間開放)は、公共施設予約システムによって運営している学区が少なく、大半は開放運営委員会と市のやりとりがメールや紙ベースでのアナログ方式であり、事務手続きの間違いの原因となり得ることから、学校体育施設(夜間開放)を含めた全施設のシステム運用実現に向け取り組みます。																			

事業CD	652101	事業名	健康ふれあい公園施設管理運営事業	所管課	スポーツ課																		
会計	一般会計			決算書頁	222	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 安心・安全かつ快適なスポーツ環境を提供するため、指定管理者との連携を図り、適正な施設維持管理と円滑な管理運営を行いました。 指定管理者のノウハウを活かした施設管理と魅力ある自主事業を展開することで、利用者数の増加につなげました。 ・年間利用者数 161,143人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 健康ふれあい公園利用者数</td> <td>147,298</td> <td>161,143</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 健康ふれあい公園利用者数	147,298	161,143	人	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度						単位															
① 健康ふれあい公園利用者数	147,298	161,143						人															
②																							
③																							
項	06	保健体育費																					
目	04	社会体育施設管理費																					
予算額(千円)	52,871																						
決算額(千円)	52,853																						
(前年決算	49,562	)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
利用者に健康ふれあい公園を安全かつ快適に利用していただくため、指定管理者と連携を図り、施設の適正かつ円滑な管理運営を行いました。																							
80																							
事業CD	785101	事業名	社会体育施設整備事業	所管課	スポーツ課																		
会計	一般会計			決算書頁	222	資料	無																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> 安心・安全で快適なスポーツ環境を提供するため、ふるさと応援基金を活用し、施設や備品の整備を行いました。 ・運動公園防犯カメラシステム改修工事(防犯カメラ増設) ・運動公園・安土文芸の郷サッカーゴール更新 ・イベント用テント、三方幕、グラウンド用ベンチ等更新 ・熱中症対策ミストファン購入	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 社会体育施設利用者数</td> <td>399,363</td> <td>392,358</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 社会体育施設利用者数	399,363	392,358	人	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度						単位															
① 社会体育施設利用者数	399,363	392,358						人															
②																							
③																							
項	06	保健体育費																					
目	04	社会体育施設管理費																					
予算額(千円)	12,532																						
決算額(千円)	11,321																						
(前年決算	3,199	)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>																							
ふるさと応援基金を活用し、防犯カメラの増設や老朽備品の更新、熱中症対策備品の購入など、市民が安全で快適に利用できるスポーツ環境を整備しました。																							
81																							
<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b>																							
所管する施設や備品の多くは老朽化が著しく、これまでより緻密な修繕・改修の年次計画再検討が急務と考えます。																							

事業CD	785201	事業名	第79回国民スポーツ大会施設整備事業	所管課	国スポ・障スポ推進課																		
会計	一般会計			決算書頁	222	資料	有																
款	10	教育費	<b>&lt;成果・実績&gt;</b> ①運動公園野球場改修工事の実施 工期 令和5年9月～令和7年2月(2カ年) 契約額 2,347,249千円 令和6年度支出(繰越明許)1,568,026千円 (現年度)411,735千円 ②運動公園体育館床タイル及び外周道路舗装改修工事等の実施 9件 108,469千円 ③駅南総合スポーツ施設床及びあづちマリエート一般照明改修工事等の実施 8件 132,044万円																				
項	06	保健体育費																					
目	04	社会体育施設管理費																					
予算額(千円)	2,268,827																						
決算額(千円)	2,258,149																						
(前年決算	527,340 )																						
※主な特定財源																							
国庫支出金	1/2																						
県支出金																							
<b>&lt;事業概要&gt;</b>			<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 運動公園野球場改修工事</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>② 運動公園及び周辺の施設改修・整備(野球場以外)</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>③ 運動公園以外の施設改修・整備</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>					事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位	① 運動公園野球場改修工事	1	1	件	② 運動公園及び周辺の施設改修・整備(野球場以外)	6	9	件	③ 運動公園以外の施設改修・整備	4	8	件
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和5年度	令和6年度	単位																				
① 運動公園野球場改修工事	1	1	件																				
② 運動公園及び周辺の施設改修・整備(野球場以外)	6	9	件																				
③ 運動公園以外の施設改修・整備	4	8	件																				
第79回国民スポーツ大会開催に向けた競技施設の改修を行い、競技施設基準を満たすとともに、引き続き市民が安全で快適に利用できる施設にしていきました。			<b>&lt;課題、今後の取り組み&gt;</b> 大会の競技会場・練習会場となる施設については、競技施設基準を満たすための改修工事を完了しました。また、会場へアクセスするための周辺道路の舗装改修工事を完了しました。これにより、令和7年度に国スポ・障スポを開催するためのハード面の準備が整いました。これらの整備成果を活かし、国スポ・障スポの円滑な大会運営を行うとともに、市民が安全で快適に利用できる施設として管理に努めます。																				
82																							

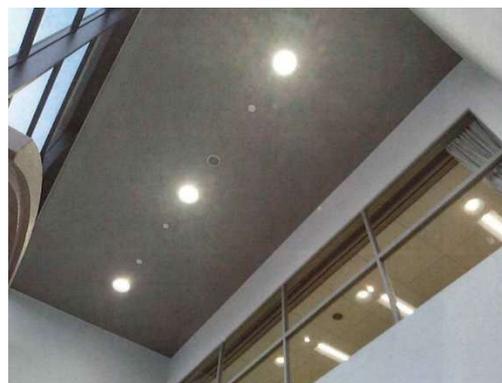
事業CD	785201	事業名	第79回国民スポーツ大会施設整備事業	所管課	国スポ・障スポ推進課		
------	--------	-----	--------------------	-----	------------	--	--



運動公園野球場



駅南総合スポーツ施設床



あづちマリエート 一般照明